(明治三十九年八月二十日第三種郵便物認可)

京城日報

本紙定價 一ヶ月金五拾錢 前金 郵税共
廣告料 五號活字一行
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番

戰時及戰後の國際貿易（三）

長期信用供給

然らば戰爭によりて大なる打擊を受けたる國々に付きては如何と云ふに、六ヶ月位の信用にては假令、更新を許すとして、工場及び都市を復舊する必要に迫られ居る國の需要を滿足せしむること難かるべし。此に於て此等の國に對きては更に長期の信用を必要とす。

政府の貸付

戰中合衆國政府は外國政府に對し約百億弗の貸付を爲したり。此等の貸付は平和の宣言と共に停止せられたり。而して合衆國の民心は此以上の貸付が政府によりて爲さるゝことに對し、最早好意を有せず。合衆國政府は現在三十億弗の流動公債を有す。此流動公債は再び民間に散布せられ、現今の物價騰貴、生活費昂上の一原因をなすものなり。政府は此に公債を募集することにより諸國へ貸付を爲すことを得べけんも、議會は恐らくはかゝる公債發行を承認せざるべく、假令、議會が承認するも、民衆は之に應募するを肯ぜざるべし。然しながら歐洲現下の情勢は思ふに合衆國の與論を結局變化せしめずば止まざるべし。蓋し通貨膨脹の禍害も歐洲產業の荒頽も恐らく之により惹起せらるべき政治上の混亂に比しては米國の脅威すること少ければなり。

政府間接援助

合衆國政府は又戰時金融會社を通じ輸出業者に間接的援助を與ふる方策を講じたり。此會社は五年以内の期間を以て輸出業者又は銀行に對し、其の約束手形を引き當に十億弗まで貸出を行ふことを得。かくて此會社の設立は商品輸出により一般國民を利益すること多しと雖も、其の規定の缺點は現下の貿易に存在する大なる危險を全然輸出業者に負擔せしむる點にあり。但し該金融會社の便益相當利用せられつゝあり。

民間の援助

政府によるも、貿易の金融は通貨膨脹を通じて甚しくするものなると上述の如し。然らば私人により輸出貿易の金融を計る方法如何と云ふに、過去及び現在に於ける國民の貯蓄による外なし。戰時金融の二途——通貨膨脹か貯蓄かの問題——は戰後の過渡期に際して再び吾人の面前に立つ。恐らくは戰後の難局は戰時に於ける同樣、此の二つの方法の折衷妥協を餘儀なくせしむべし。現今歐洲は米國人の個人的所得によりて金融の便を與へられつゝあり。更に私人の援助は銀行を通じ銀行の信用標準に堪ゆる私企業に及ぼすことを得べし。私人の長期金融の方法には種々あり。歐洲人の手にある中立國の證券を米國に於て買ひ押ふも一法ならん。外國輸入業者にして其の信用確實ならんには米國に於て債務を起すも一法ならん。聯邦準備制度の組合銀行は其の資本金及び積立金の五分までを貿易金融に從事する子會社に投資することを許され居れり。エッヂ法は聯邦政府の免許を得て聯邦準備局の監督の下に國際金融に從事する會社設立することを許せり。更に投資團を作ることも得べし。此の機關は外國證券に投資し同時にその投資證券を引き當てに自ら債券を發行することを得べし。かくして債務國の政府公債及び工業會社或は第三國の政府公債又は工業會社の保付證券は米國資金の供給を受くるを得ん。戰後に現在の國際證券を適當の制限の下に且つ米國投資者の保護を十分考慮したる上、合衆國の取引所に上場することを許すも亦輸出貿易增進に貢獻すること大なるべし。

層屋の籠

所謂多數黨の横暴

陵汀生

今度の特別議會に於て、政友會が多數を恃みて横暴である、卑怯であることは、反對黨は勿論、世人一般の喧しく攻擊する所であるが、我國今日の如き、主義に由らず、政策に由らぬ黨組織に於て、黨議を以て黨員の自由意思を斷絕する以上、多少衆寡が横暴を逞しうし、又は卑怯なる振舞をなすに至るは、寧ろ免れ難い現象である。かの歐米の議會に於けるが如き、問題に依つては、其の勝敗が必ずしも黨派の頭數に由つてのみ決せられぬところに、公平與論の見るべきものがあるのだ。新聞や雜誌が、不眞面目なる佐々木某の論調振りを暴露し、讀者の紛擾を面白さうに掲げて、世人も之を怪まぬ間は、眞正の意味に於ける議會政治は、迚も行はれるもので無い。前途は未だ遼遠である。

臨時議會見物（四）

東京支局　傍聽子

選擧無効論　陣笠の悲哀を暴露した質問

▲今日は全院委員長の選擧で各派共正午から代議士會を開いて候補者を決定する。政友會では例により顧問委員室に目白押に集まつて小久保總務から幹部會では原田十衞君を候補者に決定した旨を報告する。さ、新議員の一人が立上つて原田君の全院委員長決定は今朝の新聞にも出て居たが、幹部は吾々代議士に一切[illegible]て新聞記者に知らせると同時に黨内の事を知らせる位の方法を講じて貰ひたい』と陣笠の悲哀を暴露したところを一本參る、所謂いふ口の達者な議員は何れ幹事とか理事とかに祭り込まれるのだらう。▲平和申告の宮中の儀式に參列して勳三等の旭日章をつけた奥議長がそこへ出て來て『御承知の通り缺點の多い人間ですから此の上ながら御助力を』と挨拶をする。その議長振では中々尻尾が掴まへられさうにも無い。▲全院委員長選擧の時も、先日の議長選擧の時も、新議長は議場の閉鎖を命じないで選擧をやつたので、是れ規則違犯で選擧は無効だといふ論が無所屬の佐々木藤吉あたりに起つて、院規を取り寄せて、條文を調べて居る。そろ〳〵物騒になりかけた。▲貴族院も同じく全院委員長と常任委員の選擧で、午後二時から開會『投票用紙には候補者を認められるやう』と德川議長の細かい注意振り、行き届いたもので、こゝは型の如く德川頼倫侯の委員長當選。▲中野正剛君、尼港の責任問題の委員會設置の決議案の提出理由書を持つて廻つて『新聞に出た方が威力がつくから宜しく』（七月二日發）

ネルソン物語（一）

幼時

今から凡そ百六十年程前、即ち紀元一七五八年九月廿九日に、英國最大の海將で、又英國民の理想の偉人たるホレーショ、ネルソンが生れた。父は田舎牧師で、ノルフオーク州バーンハム、トルプに住んで居た。ホレーショは兄弟姉妹多く、家に十一人の子供が居たが、年老るまで生存へて居たのは唯二人であつた。ホレーショも亦虛弱な質で生涯種々な病氣に苦しめられた。彼は海軍生活に入つて後も、始終船醉ひに苦しんだと云はれて居る。彼は身體こそ丈夫ではなかツたが、決して柔弱な少年ではなかツた。彼は幼時より非常に大膽であツたのである。彼は三四歳の時、祖母に尋ねたことがある『祖母さん、恐怖ツて何。私は未だ恐怖ツてことを知りません。何んなものですか。』父は其の子を敎育するのに、唯彼等の自尊心に訴へしむることに努めた。此の點に關してホレーショは父の信用を失ふやうなことは無かツた。或る大雪の朝、兄のウイリアムと共に、學校へ行ッた。途には雪が深く積もりて、危險な場所さへ有ッた。兄は之に恐れて、引返さうとしたので、彼は遮ッて言ッた。『さうしたッて私等は學校へ行き着かなけりやならん。今更引ッ返しちや、私等の名折れぢやありませんか。』兄の中途から引ッ返したに關はらず、彼は小馬に跨りて安全に其の目的地に達したのである。又或る時、彼は學校の窓から庭へ降りて、校長の大切にして居た梨實を捥ッた。そして澤山の分捕品を食ひ意地の張ッた同窓生の前へ擲け出した。彼等は無論奪ひ合ふやうにして梨實を食ッたが、ホレーショが食はぬを不審がッて尋ねると、彼は酷く言ッた。『僕は食たくて取ッたんぢやない。君等が恐がッて、能く取らないから、僕が代ッて取ッたんだよ』と。

ネルソン物語（二）

ホレーショが十二歳の時に、西班牙は突然南大西洋に於ける英國の植民地フオークランド島を攻擊した。そして植民地の人に迫つて無理に其の國旗を下さしめた。是は固より英國の怒を買ふには十分であつた。遂に英國は西班牙と戰端を開く準備に取り掛つた。[illegible]を有つて居た。其の水兵は勇敢で、又熟練して居た。之に較べると、英國の海軍は、大分劣つて居た。英國が海上の覇權を握つたのは全くネルソン以後のことである。ホレーショは此の評判を聞いて、子供心にも是非行きたいと思つた。そこで當時戰艦レーゾナブルの艦長をして居た彼の叔父のモーリス、サックリングといふ人に頼んで、無理に軍艦に乘せてもらふことにした。父からも此の事で義弟へ依賴の手紙を遣つた。すると艦長から次のやうな返事が來た。『ホレーショの如く身體の虛弱な者が、海上生活を爲して無理なる勞働に從事するは如何程考へ物かと存候。』要するに彼の手紙は斯うであつた。無理に都合すれば、ホレーショ一人位入れないことは無いが、彼の職業として海軍を選ぶのは、果して當を得たものか疑問であると。こゝに叔父の許諾を得たので、ホレーショは其の赤メドウエーのチャタム灣に碇泊して居たレーゾナブルに乘り込んだのである。固より大喜びであつた。誰でも新入學の時は、胸がドキドキして不安の感に堪へないものが有る。彼も同じ工合に、彼がチャタムに行つた時、何だか寄る邊の無い心細い氣分になつた。彼は波止場へ着くには着いたが、肝腎の艦が分らぬ。人に聞ふにも恥かしくつて言葉が出ない。危く迷ひ兒にならうとする所へ、丁度レーゾナブルの士官候補生が通りかかつて、好い工合に艦まで伴れて行つて呉れた。ネルソンの行つた時、生憎叔父が居なかつた。そして誰も彼を構ひ付けて呉れる者がない。彼はもう大悄けに悄けて、甲板の片隅に小さくなつて居た。然し程なく叔父も歸つて來るし、士官達も種々の職務を取つて呉れたので、彼は漸く落ち着くことが出來た。此の時の淋しさは、生涯彼の忘れない所であツた。此の苦しい經驗から、彼が司令官になツて後も、努めて若い士官には快活に談かけて、少しも不安を感ぜしめるやうな事は無かツた。

苦悶と活動

我等若し苦悶と云へる者に捕はれたるときは、手を拱きて坐することなく、及ぶ限り進みて起ちて働くべきなり。我の救拯は唯活動の中に存り。我若し多忙なる活動の生活を營まざるべからずして、平常我が身の不幸に煩悶する閑暇を得ずんば、我等の憂鬱は其の半を減ぜらるべし。

銷夏漫筆

長壽法

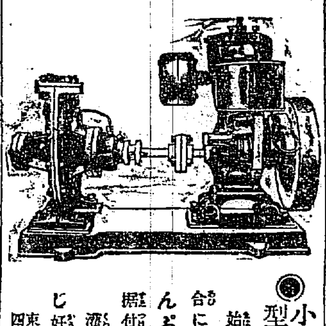
兎十生

何うすれば長壽を保ち得るかと云ふ問題は從來學者間に種々論ぜられてある。長壽者の經驗談も澤山ある。故根本通明先生は八十五歳の時に長壽の根本は『氣力』にありと云はれた。氣力が無ければ身體器官の悉くがその働きを鈍くする、氣力のある處に活動の力が生じて來る、是れを思ふと先生の活氣旺盛であつた事が分る。早婚者は長壽が出來ぬと云ふ説もあるが十四歳で結婚して十人の子供を產んで米壽を保つたといふ婦人もあるから一概に斷定は出來ない。大酒を呑む者も同樣で自[illegible]の酒家で長壽してゐる人もある、匈牙利人でツアールテンと言ふ人は百八十九歳まで生きた。この人は實に活躍家で永眠の數日前迄[illegible]のために各地を巡廻してゐたさうで平常怠けた事が無い。不思議なのは一度も藥を飲んだ事が無く食物は一定してゐたといふ。この人の一生の經驗などは確に長壽の秘訣といつてもよい。ツマリ人間は酒でも煙草でも魚肉でも無謀に飲食する事[illegible]

養鷄講義録

新式通信教授によりて一雄百雌年益千圓を擧げしめ出版す
東京神田一ツ橋通り(田中銀行側) 日本家禽產業株式會社
追加募集 説明書 ハガキ次第 呈

婦人、子供の肌荒、手洗用
蝶印クリーム 一手販賣
京城元町壹丁目 各石鹼製造元
生田組石鹼工場 電話龍山六二六番



小型 ガソリン發動ぽんぷ
始動に手數が掛らず、如何に火急の場合にも、直ちに容易く運轉し得る輕便ぽんぷにして、容積小さく、量目輕きが故に、据付に場所を取らず、持運に便利なり。灌漑、排水其他一般の揚水給水用に適し好評湧くが如し。(説明書送呈)
東京市京橋區銀座四丁目西仲通 二葉商店 電話京橋一九五二

小學男生 八月號
二頁寫眞 富士川下り 急流を以て知られてゐる富士川を、思水始め記者十數名が下つた。其の時の大寫眞
飛行物語 伊太利の空から
大附錄 切拔き 浦島
(小說)かくれ面 思水　(小唄)夏 西川　(寫眞)山の湖　(小說)空氣銃

小學女生 八月號
二頁寫眞 箱根山の涼風 成蹊小學校の生徒が、先生方と箱根山で天幕生活をした寫眞と、村井花子さんの記事
繪と小唄 招かぬお客
大附錄 生たテーブル
(お伽)夢の鏡　(小唄)隣の坊や　(小說)つみき　(小唄)夏の六景

幼年の友 八月號
變繪小唄 兩國の川開き 舟と川と花火の美しい色どり、小唄も非常に面白く出來てゐます。子供雜誌の花形!!
新案附錄 夏休み日課表
お伽小唄 小蜘蛛(手品)
(お伽)兎のお家　(繪噺)富士登山　(繪噺)新浦島　(繪噺)空中合戰

小學男生 小學女生 一冊十錢 郵税五厘 半年分五十一錢 一年分九十二錢　幼年の友 振替東京三二六番
實業之日本社 東京 京橋

大々好評 交際上手社交の必要 ドンナ無骨者も本書一冊で立派に粹人となれる
宴會百藝 全一冊 菊判美本 二百頁 洋裝優美 總かな附
▲宴會の席で必要なのは交際上手即ち人を飽きさせず洒落唄に花を咲かせ一座のしらけぬ隠し藝が必要であるがボンヤリしてゐては誠に見苦しく又本人も非常に恥をかく事が多い▲本書は即ち世の紳士青年諸君が座敷に持出して高尚な隠し藝の粹を集めたもので先づ滑稽落語、常盤津、新内、數種新酒盃、浪花節、琵琶、詩吟、劍舞、義太夫、和洋食の喰べ方、式辭挨拶の仕方、テーブル諸君の卽席演說と全部說明眞に至れり盡せりの珍書也何人も秘密に稽古をすむ
特價 割引七十五錢(代金引換送料十六錢 前金注文送料六錢)
嚴封の上送本す 希望者は賣切ぬ内にハガキで御注文あれ代金引換でも送本す
發行所 東京赤坂丹後町九七 日本通信社 振替東京三四九番
書籍 修養 販賣 京城本町 ウツボヤ書籍店

涼し その書き心地
SWAN スワン萬年筆
東京 スワン萬年筆製作所

東洋大學教授 高島平三郎著 (第拾八編)
精神修養 逸話の泉 定價壹圓八拾錢 郵税十二錢
逸話は人世の大河たる歷史の流れから其兩岸の磧に打ち上げられたる砂金である明珠である
(本書の内容) [illegible]
既刊 第壹篇至十八篇各册▼定價壹圓八拾錢▼郵税各拾貳錢
發兌元 東京市麹町區隼町二十番地 洛陽堂 振替口座東京二〇九一四番 電話九段一九六六 一五一一

宇治茶の香味は日本一
お徳で趣味ある宇治茶注文の御案内
玉露 明月 壹斤 六圓
玉露 濃櫻 壹斤 四圓
玉英 壹斤 貳圓貳拾錢
煎茶 深見草 壹斤 壹圓七拾錢
川柳 壹斤 九拾錢
◎參圓以上御買上げに對し景品券一枚進呈
◎振替貯金又は爲替にて前金御注文は送料全部弊店持
◎御進物用は意匠精美、嶄新の包裝を施し御調進可仕候
◎御資は特に御相談申候・茶銘 價表送呈
山城宇治木幡 林屋製茶合名會社小包部 振替 大阪一七八八〇 東京九四〇一
御注文の節は此新聞名御記入願上候

仁保康三先生著 最新著 定價一圓
生殖器障害 りん病 せうかち
醫者いらず
○生殖器障害りん病、消かち、コシケの絶對根治法 [illegible]
本療法は自分で秘密に容易に根治する眞の安全自療法。費用は醫療費や賣藥の數十分の一
發行 榮文堂 東海堂 明文館 大東京堂 一誠堂

八月号 女優秘話號出來 活動俱樂部
再版 臨時增刊 寫眞畫帳 オペラ
謝水害御見舞 濱西商會石灰部 富田兵藏
購買公告 京城府
京日案内
譲 古
尋ね人
德用
賣家
事務員募集
古本買入 文光堂
看護婦募集
鐵工所ヲ譲ル
白神洋行
乳母入用

時間會議失敗

四十八時間制は十日最後の解決を見たるが結局十四票の差にて三分の一に達せず時間會議は全く失敗に終れり（羅馬電報）

別報

四十八時間制は十日最後の採決にて一票の差にて全く不成立に終れり（羅馬特報）

支那軍守備撤廢

支那西伯利派遣支隊長宋煥章指揮の下に支那軍は去る六日より尼ボクラニーチナヤ間の守備を撤し當分ボクラニーチナヤに駐屯する事となり十二日を以て支那軍全部の撤退を終了すべしと（浦鹽電報）

支軍黒河に移屯

武市に駐屯しつゝある支那軍隊は七月二日武市を引揚げ黒河に移屯すべく支那居留民保護の爲には新に巡警二十名を以て之に任ずる豫定なりと（浦鹽電報）

派遣軍隊分列式

軍司令部公報部の聲明

新に浦鹽に派遣されたる日本軍は十日當地に着し大井軍司令官の檢閲の下に分列式を行へり尚ほ此增兵に關し軍司令部所屬公報部は後日加補撤兵に依りパルチザンの東行と尼港事件に鑑み日本政府の自衛的手段なれば露國側は誤解する勿れと聲明せり（浦鹽電報）

張氏武裝的調停

開戰禁止命令＝形勢一變か

張巡閲使より徐段兩氏に宛て『予は誠意を以て平和解決に從事せしも徐段兩氏の左右人物がこを防害せり故に予は此等の策士を驅除し武裝的調停をなすべし』と打電し來り別に段氏に徐電を送り調停前に開戰せざらんことを述べたり徐總統は此の調停を喜び十二日朝靳雲鵬氏を招き命令を發し開戰を禁ずべく協議せり段派及徐樹錚一派は不同意なるが如きも何れにしても形勢一變すべき模樣なりと（北京電報）

危機愈切迫か

蘇浙江兩軍出動して上海市中騷然たり危機迫れる如し（上海電報）

上海戒嚴令布告

十一日午後上海軍區內に戒嚴令布かれたり（國際通信＝上海電報）

天津にも戒嚴令

天津にては十一日夜より戒嚴令を布けり（天津電報）

兩軍城外にて衝突

直隷安徽兩軍の動員は既に成り一部は北京城外に衝突したりと（天津電報）

安徽獨立計畫

靳雲鵬氏は初に出京し天津に於ける復辟揚言に關しては一時注意を喚起せり氏は徐州に赴き安徽獨立の計畫をなすべしと（北京電報）

伊太利武器供給

伊太利は北京に於て段派に天津に於て曹錕派に對し均しく武器を賣却せりとて一般に疑惑を惹起せり（北京電報）

徐總統辭職草案

徐總統は辭職の草案を作り新國會に提出すべしと（上海電報）

驅逐隊增派か

支那內亂擴大の爲め

支那內亂擴大の爲め第二十九驅逐隊增派さるやも知れず同隊は十二日鎭海より佐世保に入港準備中なり（佐世保電報）

傭兵募集と日本武官

志願軍調練所にて目下傭兵募集中なり又日本武官は支那內亂に關係するの嫌ひあるより一時行動を見合せ居れりと（北京電報）

第四十三次帝國議會

尼港事件追窮

論戰猛烈＝阪本氏の大童

十二日の貴族院本會議

貴族院は十二日午前九時十分開會諸般報告の後德川議長若槻禮次郎氏に前回の質問を繼續するやと問ふ

若槻禮次郎氏 登壇原首相の答辯は要領を得ず此上質問するは無用と思はるゝも社會主義者の取締に關し有識無視の論の如きは自分も反對なれども社會主義者も人間なれば其の言ふこと悉く道理に反すとは斷じ難しと述べ原首相と若槻氏との間に二三押問答あり次で

目賀田種太郎男 前日の追加豫算に對する自分の質問に對し藏相の答辯を望むと述ぶ

高橋藏相 追加豫算は會計法第五條に基づきて提出したるもの尚其の中に繼續費を含むは會計法第六十四條に準據して提出せしものにて何等差支なしと述ぶる低聲にて答辯す目賀田男再答辯を促し漸く幕を下す次で

阪本釤之助氏 外相の發したる『今にして在留邦人の引揚げを斷行せずんば慘害測り難し速かに訓電を待つ』云々の電報に接したるが外務當局は一時遁れの返電を與へ更に廿四日及び廿六日に至り三宅海軍少佐より陸戰隊の派遣要望電報を發したるも機宜の措置をなさず遂に今回の大慘事を見るに至りしと聞く之に對し外相は如何なる答辯あるやと問ひ轉じて海相に向ひ一昨年九月尼港陸戰隊と陸兵と交替し艦隊撤退するに方り陸軍側より切めて砲艦一隻なりと駐め置かれたしと要求したる趣きなるが之に應ぜざりしは如何なる心意に出でたるか而して同時に海軍は再び艦隊を派遣せるにも拘らず十月結氷前に之を撤退せしは如何なる理由なりや殊に前の守備隊は戰時編成に係り後の守備隊は平時編成にて兵數は半減せるにも拘らず海軍の協力を與へざりしは如何なる事情に依るか先月二十三日公表されたる尼港事件の顛末中に臨時海軍派遣隊は哈府を根據として黒龍江上流に出動し陸軍と共同作戰に從事せりとありしが這は尼港陸軍とは如何なる關係なるや尼港の支那砲艦が發砲せしとの說は眞相如何と畳掛け更に轉じてオ、ック附近のパルチザンの跳梁状況及び防備如何を質し最後に勵聲一番して日く[illegible]府に在りたる我陸軍官憲は[illegible]べからざる過激派の言を信じて我守備隊は敵對行動を中止せしめたる一事は今回の悲慘事を惹起せる原因と認めざるを得ずと色を作して降壇す

內田外相 石田領事より在留民引揚げの電報を接受せりや否やとの質問に對しては新聞紙には然ることありしも全然事實無根にして取消したり石田領事よりは本年一月十一日以來電報を受取たることなし十一日の電報の內容も居留民引揚げに關するものに非ず支那砲艦の砲擊事件は未だ事實判明せず、而して右は重大なる事件なるを以て目下調査中なり尼港駐屯兵の日記若くは殘存露國人の傳ふる所に依れば或は事實なる如く報道されたるを以て外務省は派遣官をして支那砲艦に就き調査中なり事實判明次第報告すべしと答へ次いで

加藤海相 登壇（一）陸軍より砲艦一隻派遣ありたしとのことは之を受けたることなし（二）我軍艦の引揚たるは結氷と共に何等の行動を執る能はざればなり尼港附近には澤山の漁業者在留民あることなれば艦隊を派遣して此等官民の保護に當らしめたるが結氷期に入ると同時に已むを得ず引揚げたり（三）砲艦黒龍艦隊は二百噸內外の砲艦及び通報艦若干隻ありしも一昨年陸軍が哈府を占領すると同時に我海軍に引繼ぎたるも通報艦の如きは殆ど外洋に出でて其任務を盡すに不十分のもののみなり（四）海軍の引繼ぎは結氷の爲行動不可能なるより陸兵要求と同時に解隊したりと述べ尚綏々として阪本氏の指示せる事項に關して陳辯釋明し帝國の河用砲艦は支那長江筋に出動し居るのみにて之を使用する能はず現在は我軍艦二隻驅逐艦四隻勘察加沿海州防備に服せしめつゝありと述ぶ

阪本氏 外相は一月十一日及び十七日の兩回に亘り石田領事より電報ありたるも居留民引揚げに關することに非ずと謂はるゝも其の電報の內容は心なく看過する程夫程詰らぬものなりしや當時の內田外相の心理狀態如何と切り込み更に浦鹽軍司令官と參謀本部との用兵作戰上に關し陸軍大臣の說明を求む

內田外相 受取たる電報は十一日附のものを十五日受取たるものなるが其の內容は

尼港居留民引揚の事なく唯形勢危險なるも

逼迫せる状なしと述べたるものなりと答ふ次いで

田中陸相 登壇尼港哈府間の通信機關は今年二月八日杜絶し山田旅團長は三月十四日に至り戰爭の起りたるを知りしと述べ石川少佐の司令官より受取りたる任務命令を朗讀し殊に石川少佐より增兵の要求なしこの點に就き力を入れて報告し島田元次郎とは二回程面會したるが尼港事件發生の前後には面會したることなし要するに尼港事件の發生は上陛下の宸襟を煩はし奉り恐懼措く能はず臣節を盡す積りなりと答へ更に

加藤海相 河用砲艦の設備なかりし點に就て補足說明す

阪本氏 田中陸相の答辯には感服せるも赤軍と交渉して戰鬪中止を敢行せるが如き軍の行動こして洵に受取難し併し今の陸軍大臣の說明に免じて質問は打切るべしと結び次に

江木千之氏 登壇尼港の守備を今少しく手厚くし置きたらんには今回の如き慘事は防止し得たるやも測り知れず當局如何と問ふ

原首相 之だけの兵にて足りるや否やは軍事機關の認めたる所に依つて配置するの外なし今に於て論議するも如何とも答辯し能はずと答ふ

江木氏 前日の臨時議會の質問に對し原首相は尼港慘虐事件は上陛下に對し奉り恐懼に堪へずと謂はれたり實に恐懼に堪へざる首相の自發されたる以上自分は何時進退伺を出さるゝか何時辭表を提出せらるゝかは質問する限りにあらずと思考す如何と述べ

首相 上陛下に對し奉りて責任の有無に拘らず斯の如き事件の發生したるは恐懼の至りに堪へずとして夫々手續をなしたりと答へ尚江木氏質問を繰返したるも原首相穩よく之れを受流す次で內田外相、江木氏不可抗力云々に就て說明し江木氏の役目問ふ所あるべしとて質疑を打切るや阪谷男質問の留保を希望し

藤村義朗男 國防計畫と國民生活との質問に對する原首相の答辯を促したるに

原首相 經濟的事情の許す限り國防計畫を遂行することは考を要するも今日の場合到底遂行急務なることを說明し之に對し藤村男更に尼港事件を提げて政府に肉薄し內田外相の答辯ありて日程に入り三時散會す（東京電報）

滿場緊張す

普選案上程

十二日の衆議院本會議

十二日は第四十二議會解散の理由となりし普選案の上程日なり大勢は既に決し如何ともなす能はずと雖も野黨は飽く迄も戰鬪することに決せるとて議場は固より傍聽席も緊張の色漲る午後一時十五分開會奥議長開會を宣するや劈頭佐々木安五郎氏議長を呼ぶ奥議長『議事進行に就てなりや』佐々木氏『議長不信任に就てなり』政友會の岩崎勳氏『反對々々』と叫びたれども奥議長は其の登壇を許す

佐々木氏 議長は一黨一派の議長にあらず議場全體の議長にて公平無私ならざるべからず一黨一派の議長たるを許さず自己の身上に關することが問題となりし以上潔く席を退くべし故奥氏さへ自己の身上に關しては其席を去れりと云ふや政友會より『必要無し』と反駁するや佐々木氏『彈丸命中せし時の悲鳴』と云ふ此時奥議長席を粕谷副議長に讓る 佐々木氏前日の議場は如何混亂に混亂を重ね議長は議場を整理するの能力無し第一休憩をなすにも其の區別すら見出さず第二議長は散會前次の日程を報告すべきにこれを爲さず議事規則を無視せり第三尼港問題は余等が秘密會を要求せるに拘らず議場に質疑順序を定むるに方り議事規則を無視し政友會が勝手に之を定めたり第五一日も忽にすべからずと云ふ國防觀さへ犠牲に供したる普選案を上程するに方り憲國兩黨の主張を容れず勝手に本日の日程に上せしは公平なる議長と稱する能はず茲に議長不信任の動議を提出すと述べ政友會の岩崎勳氏『本動議は何等理由無し』と反對し無所屬の

井上孝哉氏 議場混亂の責任は少數黨が無茶苦茶に反對する故なりといふや在野黨より一齊に手を拍つて演說を妨げ其の云ふ所を聽取する能はず

粕谷副議長 佐々木氏の動議を採決したるに少數にて議長に依然信任ありと宣し日程に入る

一、大正四年法律第十六號中改正法律案（政府提出第一讀會）神野大藏次官の說明ありて十八名の委員附託

一、大正七年度豫備金支出の件（承諾を求むるの件）神野大藏次官の說明あり十八名の委員附託

一、大正九年勅令第五十二號（承諾を求むるの件、委員長報告）米田穰氏委員會の經過を報告し承諾を與ふるに決す

一、大正八年法律第九號中改正法律案（政府提出、第一讀會の續き委員長報告）南里琢一氏委員會の經過を報告し可決

愈本舞臺に入る

一、衆議院議員選擧法中改正法律案（武富時敏君外七名提出）

一、同上（植原悅二郎君外二名提出）

一括して議題に供し憲政會の關和知氏本案は憲法附屬の法律なれば總理大臣の出席を求むと述べて原首相の出席を待つて憲政會の

下岡忠治氏 吾々は世界の大勢に鑑み大正維新の實を擧ぐるは今日に於て普選を行ふ必要ありと信じ第四十二議會に法律案を提出せり然るに政府は時運を解せず平地に波瀾を捲き起して解散を斷行し而も總選擧に方り普選を以て社會を脅威するものなる旨地方民に告げ又地方的利益の好餌を以て黨勢擴張の具に供し以て多數黨なるを得たり吾人は數に於て敗れたるも實際に於て勝てり輿論の先覺者たる有識者階級は總て普選を主張し都會の選擧は多く普選論者の勝利に歸したるの數に於ては敗れたるも實際に於て勝利を得たりと云ふ所以なり政治能力の有無を判別するに財產を以てしては標準とはならず知識の有無を標準とせざるべからず而して普通選擧を行へる諸外國の國民教育程度と比較して我國は決して聊かも低しと云ふを得ず國民に政治的自覺ありて要求しつゝあるに之を壓迫すべきに非ず之を壓迫して政治圏外に置くは最も危險なり斯くの如くせば遂には恐るべき直接行動に出づるに至ること無きやを保し難しと述べ更に

島田三郎氏 の說 二百五十年前德川家康は豐臣家にて造れる梵鐘の國家安康の文字を以て戰ひを挑ふの口實となし現內閣は普選案を以て社會の組織を脅威するものなりとして解散を爲せるは家康の故智を學べるものなり政友會は本心に立返り本案に贊成せられんことを望むと述べて降壇

普選案遂に破る

夫より首相[illegible]の答辯あり憲政國民兩黨に原首相は政府は反對なりと說明し討論終結の動議出で憲政國民兩黨の普選案は否決せられ午後六時五十分散會せり（東京電報）

內地船來航激減

財界不況出貨激減影響

旱魃の影響並に財界の不況による昨今全鮮の貨物出廻り不振は稀有の現象なるが右の結果內地の船舶中朝鮮沿岸各港に航行し居りしものは近來殆ど影を減するに至れり現に北鮮方面は商船互光兩社の半命令航路以外他の船舶は影を減して朝鮮郵船の獨占に歸せんとし嘗ありたる露國義勇艦隊の如き浦鹽政情の變化に原因してか全く來らず又南鮮西鮮方面は大阪商船會社にて仁川群山釜山に三隻を廻航せしめたるも六月以來その二隻を減じて現に一隻となし居り尼ケ崎汽船會社は從來一千噸級船並に六七百噸級船合計七隻を配しゐたるも財界不況以來一千噸級船の大型もの四隻を內地に繫船若くは他に振向け現に三隻に減じ然も尚ほ配船を怠らんとしつゝあるやの噂ありその他貨物ありと云へば直ちに風來的に來航をなしたる內地の風來船は近來全く影を潜め唯深川造船所の七八百噸級船一隻時々群山釜山に航行しつゝあるに過ぎず尤も朝鮮郵船の定期航行のみにて現在の出貨程度なれば必ずしも輸送力不足なしと認めらる乃ち大戰中は內地並に外航船腹の缺乏の爲め內地船の朝鮮來航減少し朝鮮沿岸は殆ど朝鮮郵船の獨舞臺となりしが最近は朝鮮自身の出貨減退の結果自然的に內地船の來航を制限しつゝある傾向なり

兩鐵道不通

京漢 津浦

支那內地動亂の爲め京漢津浦兩鐵道は線路破壞せられ列車の運轉不能となりたるを以て滿鐵に於ては右兩線經由日支聯絡旅客手小荷物の取扱は當分の內之を停止すべしと

上半漁業出願

本年上半期中に於ける免許漁業の出願並に處分状況を聞くに六箇月間を通じ出願四百四十一件處分濟八百三十二件にして尚ほ未濟に屬するもの百三十五件處分に係るもの二百八十九件なるが之を月別に表示すれば左の如し

月別	出願	處分
一月	五七	一八〇
二月	一〇四	一二九
三月	八四	一一八
四月	一三	一二六
五月	六〇	二一五
六月	一二三	七四
合計	四四一	八三二

炭價漸く軟調

財界不況以來各種事業の縮小中止相踵ぎ船舶の航行亦減じたる結果石炭の需要漸く細り今春までの如き供給不足の現象は緩和さるゝ傾向あり從つて炭價も下押し模樣にて內地炭の移入の如き一噸二十二三圓以下何れも之れを最高値當時に比し二圓方の下りを示すに至れりと

空車千輛

在貨益減少

財界不況以來鮮鐵の在貨は益々減少し最近調査に依る全鮮在貨噸數は僅に六千五百九十五噸にして是を前旬の九千五百六噸に比し二千九百十一噸の減少を示し是が爲空車千輛に近く實に慘澹たる状態にあり穀類にあつては米京釜線四十二噸京義線五十六噸湖南線五十二噸計百五十噸大豆京釜線二十五噸京元線二十五噸計五十噸雜穀は京義線のみにて五十二噸粟京釜線二百六十噸京義線二十七噸京元線二十七噸計三百十四噸にして全く空前の減少を示せり其他重なるものは鹽百四十噸木炭六十噸石炭二千四百十二噸木材三百七十八噸局用品千八百噸等にして內地行きに僅は五十噸を算するのみなりと

增配不可

有賀頭取談

殖產銀行にては當期增配をなすべしとの說あり又株主中にて增配希望の聲もあるが右に對し有賀頭取は曰く當期の配當は七分据置にて增配提案はなさゞる事に內定し居れり蓋し財界は下り坂にて斯かる際は內容の充實を企圖するを第一とすべく又多少人氣取り的に增配をなすは之をなし得ざるにあらず成程業績は相當に良好にして一分方の配當增加は可能なれど之を株主に頒たず社內に保留するを賢とすべし更に當行は前期より政府の配當補給を辭退したるが若し補給を辭退し居らずとせば當然七分の配當となり居るなり唯予等もいつまでも七分の配當を繼續すべしとの意向を持するにはあらず相當の時期には進んで其提案をなすべし然も當期は尚ほその時期に非ず云々

殖銀六回債券

百萬圓發行

朝鮮殖產銀行にては今回大阪藤本ビルブローカー銀行の引受にて第六回社債一百萬圓を發行したるが右は百圓五百圓一千圓の三種に分ち利率年八分大正十年七月五日まで据置きその後隨時に償還するものにて右は現金の授受を終り勸業資金として放出中なり

京城電氣業績

京城電氣會社の當期業績を聞くに左の如し

總收入金 百八十一萬七千三百五十五圓

總支出金 百三十六萬五千六百四十九圓

純益金 差引四十五萬一千圓

乃ち收入はこれを前年同期に比し六十五萬七千圓を增加したるがコハ電車電燈瓦斯の値上げのためにて支出亦諸物價高諸俸給增加のため八十三萬餘圓を增加しこれと差引純益に於て十二萬二千圓を增加したり尚ほ益金分配案は左の如し

準備積立金 二萬三千圓

別途積立金 二萬二千圓

使用人退職手當基金 一萬圓

役員賞與金 二萬圓

株主配當（年一割） 三十六萬二千五百圓

後期繰越 七萬九千八十一圓

尚ほ收入の內譯は九十一萬餘圓電燈收入六十二萬餘圓電車收入二十七萬餘圓瓦斯收入なりと

龍山水害甚大

調査進捗

京城府龍山出張所管內に於ける水害調査は岡田主任計畫の下に着々進捗しつゝあるが十三日午前中に判明したる死傷者は死亡鮮人一名負傷憲兵一名鮮人四名其他家畜類の水死三十四頭に上れり流失家屋は內地人四戸鮮人十一戸計十五戸全潰內地人一戸鮮人二十七戸計二十八戸半潰內地人十六戸鮮人四十一戸計五十七戸床上浸水家屋內地人千五百八戸鮮人九百三十五戸外國人六戸計二千四百四十九戸床下浸水內地人二百七戸鮮人二十五戸外國人二戸計二百三十四戸にして又畑地の埋沒せるは內地人六町五反鮮人二十八町三反計三十四町八反畑地浸水內地人三十二町五反鮮人四町四反外國人一町五反計三十八町四反にして其他道路橋梁の破壞せるもの尠からず商品の損害額は各戸に亘り目下調査中なるが昨紙報道の損害四百萬圓より遙に超加すべきもの如し

京城勞働賃金

朝鮮土木建築協會の調査に依れば七月上旬中に於ける京城職工賃金は左表の如く一般財界不況の影響により前月に比し約一割弱の低落を示せるも目先は這般の水害による回復工事の爲め一時的にも一般勞銀は昂騰せん見込なりと

業種	內地人	朝鮮人
大工	三、五〇〇	二、七〇〇
左官	四、五〇〇	三、〇〇〇
石工	五、〇〇〇	三、二〇〇
木挽	四、〇〇〇	三、〇〇〇
瓦葺	五、〇〇〇	三、〇〇〇
煉瓦職	四、〇〇〇	三、〇〇〇
ペンキ塗	四、二〇〇	三、五〇〇
疊職	三、五〇〇	……
井戸堀	二、五〇〇	二、二〇〇
表具師	五、〇〇〇	三、〇〇〇
桶職	三、〇〇〇	……
車製造	三、〇〇〇	一、八〇〇
鍛冶職	三、四〇〇	二、〇〇〇
錻力職	三、五〇〇	二、五〇〇
鳶職	二、三〇〇	一、八〇〇
平人足	一、九〇〇	……
土方	二、〇〇〇	……
仲仕	二、五〇〇	……
擔軍	……	一、三〇〇

瓦斯値上批難

京電に對し

京城電氣會社は本月より瓦斯料金一千立方フイートにつき一圓二圓五分の値上を實行することとなりしが炭價は財界の不況に原因し漸く下押し始め薪炭類亦下落しつゝある際會社が瓦斯料金の引上げを爲せしは不當なりとの聲あり殊に電氣電車は當局の許可を得て料金の改定を行ふも瓦斯のなれど瓦斯は未だ料金改定の如きは會社の自由を放任され居るにつき會社は前記の諸事情を無視して値上を行ひたるものなるべきが市中漸く批難の聲を聞くに至れり

復習勤務演習

十九日より召集

第二十師管內補充兵勤務演習は十九日より平壤步兵第七十七聯隊龍山步兵第七十八同第七十九兩聯隊及び大邱步兵第八十聯隊に召集する事となりたるが豫備將校准士官は十九日より五週間後備將校相當官は八月二日より三週間豫備下士は七月二十八日より四週間後備下士は八月二日より三週間豫備下士相當官は八月二日より三週間後備下士相當官は八月七日より二週間上等兵以下豫備は八月二日より三週間後備は八月九日より二週間に離し蹄鐵工長以下は龍山野砲兵第二十六聯隊に召集さるべき騎兵砲兵工兵等の特科兵にありては本年は羅南第十九師團管下に召集さるべしと

殖產局長訓示（一）

林業主任に對し

各道並に營林廠林業主任會議に於ける西村殖產局長の訓示左の如し

今回の各道及營林廠林務主任會同は本官着任後第一回の開催なるに本官偶出張不在中にして親しく各位の陳述を聽取することを得ざりしは誠に遺憾とする所なれども幸任の上主務者より詳細なる報告を得べく將來の林政施設の改善に資する所大なるべきを信す林業は總督府設置以來逐年進展し其の成績漸く現はれむとする域に進めるは之れ全く各位の努力の致す所にして其の勞多とする所なり然りと雖も山野の荒廢其極に達せる現狀に鑑み且は爾年の騷擾以來人心平靜を缺き延ては造林上惡影響を招來したる向あるに鑑みるときは未だ以て容易に意を緩することは能はず直接指導獎勵の任に當る各位は益々不屈の決心と適確の努力を以て施措其の宜しきを得所謂百年の大計をして過誤なからしむるを期せざるべからず以下素懷の一端を披瀝し各位の參考に資せむとす

▲林政の根本 總督府設置以前に於ては林政の見るべきもの少く特別の保護助成の途き伐採を制限したる所謂封山を除くの外專ら私占を禁ずるに止まり所謂公山と稱して人民の自由入山に委し林產物の伐採に對して特定の制限を加へざりし結果今日の如く國土の大半を禿山赭峰と化せしめたるが如き由て來る所は一にして足らざるべしと雖（一）山林に關する智識に乏しく愛林思想の缺如せること（二）永久的利益の打算に暗昧なること（三）收利關係の確定せざりしこと等は其の主なる原因なるが如し

惟ふに往々に於ける林業の目的は主として林產物を以て直に經濟上の利便に供するに在りたれども近代に於ける林業は之に加ふるに農業工業其の他の產業に對し生產の資料を供給し又は水源を涵養して工業原動力の供給を潤澤にし兼て國土保安氣候の緩和等所謂間接の機能を發揮するの必要益々痛切なるに至れり朝鮮に於ても現に製紙、擣寸、染料の製造等林產物を原料とする工業勃興し將來益々增加せむとするの傾向あり又水力に依りて工業の動力を得むとするの要求亦甚だ痛切となり爲に水源の涵養上森林保續の必要を絶叫する者尠からず

朝鮮に於ける林政の根本は能く前述の如き森林荒廢の原因を究し既往に鑑みて將來を慮り一定の方針を確立して之か恢復整理の途を講ずると共に時代の要求に應ずるにあり新政創始の初めに當りて森林令を發布し爾來講習講話、模範林の設置記念植樹の實施印刷物の頒布等各種の手段を講じて愛林思想の普及を計り又大正七年制令第五號を以て朝鮮林野調査令を發して收利關係の確定を期し[illegible]林政に關する根本方針より出て[illegible]ものにして將來に於て[illegible]

▲林政に對する誤想 [illegible]

有蓋貨車竣成

龍山工場に於て製作中の鮮鐵有蓋貨車二十輛の內去る七日迄に竣成し之れを以て累計[illegible]となれり

鮮銀券週報

七月四日より十日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は一億零九十九萬[illegible]千餘圓にして週末の發行高は[illegible]千九百八十八萬餘圓なり

殖銀頭取披露

殖銀頭取有賀光豐氏は新任披露旁々兩三日中東上に[illegible]せしが京城に於ける披露は[illegible]の居中につき歸城の後之をなすべしと

京株課長決定 京城現物取引市場內の分課は文書營業會計の三課に分ちたるが文書營業兩課長は左の如く定まり會計課長は近く大阪より來任の豫定なり 文書課長岡部駿策、營業課長工藤重雄

滿鐵巡察員設置 滿鐵に於ては今般運輸部に巡察員を置き巡察監督を廢したるが巡察員の職務は運輸部關係業務を巡視するにありと

人事消息

▲飯島忠夫氏（學習院教授） 十三日朝來城

▲村田昇清氏（關東廳技師） 十三日夜入城不知火へ

▲秋山眞男氏（東拓技師） 轉地療養の爲め三ケ月の賜暇を得十四日發歸省の筈

▲松永武吉氏（中樞院翰長） 十三日朝內地より歸城

▲佐藤少將 奉天に旅順に向ひたる少將は十二日朝再び來奉滿鐵公所に入りたるが近く歸任の途に上るべしと（奉天特電）

▲井上致也氏（京管局旅客主任） 米中の處此程歸鮮本月末赴任すべしと

▲千葉第三部長 總督府醫院に入院中の處十二日退院目下自宅にて靜養中

▲門司鐵道管理局船舶課長 十二日午後八時着入城朝鮮ホテルへ

▲有賀光豐氏（殖銀頭取） 兩三日中新任挨拶旁東京大阪に向ひ本月末頃歸城すべしと

▲關屋忠正氏（東拓技師） 十四日東京より來城奉天經由大連に赴くべしと

▲美濃部鮮銀總裁 十四日東上の豫定

▲不破重榮氏（鮮銀秘書役） [illegible]十二日來旭町舍宅に引移り中

▲高野省三氏（三井物產天津支店長） 東上中の所十五日午前九時二十五分南大門驛著列車にて入城十六日朝北行歸任すべしと

將校定員通告

スパー會議の協定調印に先立ち獨逸代表シモンス氏より獨逸は聯合國の承認する以上の將校定員を承認する能はずとの意を告げ來れり之に對しロイドジョーヂ氏は聯合國に對する總ての問題は條約を履行せざる場合の處置を決するにありと聲明し尚獨逸に對しては勿論讓歩の餘地なしと謂ひ且つ定數の將校及武器の増加を許容せしむることを指摘したり(倫敦電報)

第三黨組織運動

米國各州代表四十八名並に自由派急進派の代表二十六名は聯盟して第三黨組織運動を開始せり而して最も人氣ある大統領候補者を決定せんが爲め行ひたる所の郵便投票に於て勝利を得たるウィスコンシン州選出上院議員ラー、フォレット氏に對して何等の反對なき模樣にて前記の代表委員は殆ど全部ラー、フォレットの徽章を附け居れり(市俄古電報)

薩哈嗹軍政施行
將來の前例とならん
占領地域内の住民に聲明せん　外調會に附議の上確定か

薩哈嗹州占領と同時に占領地域内の行政に關する問題生じ來るは當然にして帝國政府は右占領後の始末に就き講究中なりし所愈々軍政を布き占領地内の公有財産は之を押收管理する方針に決定せり　而して今回の如き相手國政府の存立せざるが爲め其の領土の一部占領等の前例に乏しく一千九百十四年米國政府が西班牙に對し當時墨西哥國内の波瀾止まず米國政府はヴェルタ政府を承認せず政權の所有確立せざりし際タチヨ事件の衛警としてベラクルーズ港の封鎖占領を行ひたる例あるも尼港事件の如きは實際上交渉し得べき政府なく帝國政府の態度は將來に於て前例となるべきものなるに依り政府は愼重考慮する所ありたるものと信ぜらる　右軍政を布くに決定せる結果我派遣軍司令官下に行政部を附屬せしめ占領地域内の住民に對し(一)今回の占領は七月三日帝國政府聲明の如く將來正當政府樹立せられ本事件の滿足なる解決を見るに至る迄行ふものにして敵意を有するものに非ず且つ帝國政府は友邦たる露國の健全なる復興を切望して已まざるものなり(二)日本政府の管理は占領地域内の安寧秩序を保持すること(三)日本人に對し禍害を加へんとする者は嚴重に處罰すること(四)犯罪者は日本の法律に依りて罰すべきこと等に就て布告を發する必要あるべく外交調査會の議に附したる上確立すべし(東京電報)

反過激運動開始
武市の空虛に乘ぜんとす

東部後貝加爾戰線危急を告げ武市附近の過激派軍隊多數赴援の爲め出發するや最近過激派の横暴に憤慨せる武市附近の守備隊長はグーロア、フラーギン及びヴィナーロ等哥薩克將校の指揮の下に武市の空虛に乘ぜんとし所在同志と相聯絡して反過激運動を開始したるもの如く又目下武市に駐屯中の共和第二第五聯隊鐵道大隊及び工兵隊等は一般に反過激派的傾向を示し聯合して東部後貝加爾戰線に赴かざることゝ及び尼港より撤退せしパルチザンの武市侵入の禁止を決議し不良パルチザン隊の武裝解除を計畫しつゝありと傳へらるゝも眞僞頗る疑はし(浦鹽電報)

直隸軍山東侵入

直隸軍三列車十日山東に侵入し來れり濟南の邊防第二師は十一日之れに當るべく出動したり(奉天電報)

混成旅團降伏説

河南の混成二旅團は武器を抛棄し降伏せりとの説あり(北京電報)

許軍徐州に集中

許蘭州軍は隴海線にて徐州に集中し江蘇軍と合すべしと(奉天特電)

曹督軍の返電

曹錕には姜桂題氏の調停に對し段祺瑞野に下り一生涯政治に關係せざれば自分も退くを甘受せんと返答し來れりと(奉天電報)

江蘇軍鐵橋破壞

江蘇軍は十日新浦線宿庄の鐵橋を破壞せり(奉天特電)

奉天嚴正中立か

張巡閲使は目下開催中の軍事會議に於て北京政局に對しては嚴正中立を執るべく決定せるもの如し　されど奉天其の他に於て段氏の身邊を窺覦する輩に對しては峻嚴の方策を執るべく先づ省城内は警戒取締を一層嚴重ならしめ從つて軍備も亦益々怠りなく整頓を期しつゝあり這は既電の通り遙かに居中調停の任に當るべき意志の前提表現と見るを得べきか(奉天特電)

段芝貴氏戰線に向ふ

段芝貴氏は十日北岸の戰線に向へり(北京電報)

奉天より(一)

老禿生

久し振に啓上仕り候　不景氣の聲は天下至る處にて候へば先づ奉天も其の選に洩れずと御承知下され度候、されど不景氣と云ふたとて景氣が好くなりもせず云へば云ふ程輪をかけ氣を腐らすものにて候へば不景氣の事は一切抜きに致し度存じ候

▲先般來買方がドウの賣方がコウの會社が……現物團が……當局者が……仲裁者が……と喧しかりし問題を提供致し奉天證券信託問題も東亞證券商所の購買りにて去る二日愈々先づ圓滿に解決し事立も此處兩日中より開始さるべき豫定に有之候は近來の好景氣にて有之候。

▲其の内容は平均價格三十九圓八十三錢を切りて東亞證券は二十八圓を支出し奉天證券が是に五圓を加へ計三十三圓を以て滿洲内出來候由、是が爲め買方の懸りたる損害は甚だ尠からざるやに聞き及び候も是れも果ひ候一つにて此紛擾なく四月より以續き場を開け居たらばヨリ以上の損失を蒙つたかも知り難ければ餘り慾を云はず此邊で思ひ切つたもよろしかるべくと存じ候

▲此の爲め奉證株が東亞に移りたるもの九千百四十株外に奉證株は他方にて二十圓見當を以て買收をなしつゝありとの事の形式により東亞の活動は大に於いて開始さるべく既に支店は富士町に設置せられ所は證券の二階に移り居候

▲并は兎も角として此際内地より大小は問ふ處にあらず資金の流入を見るは喜ぶべきの現象と存じ候、此點證圓は勿論東亞側にも十二分の努力を希望すると共に今日迄の盡力に對しては切に敬意を表するに吝ならざるものにて候其れにしても兎に角方の先生方には向後再び斯の如き紛擾を起さゞる樣特に御注意ありたきものと注文致居候

▲それにつけても今回の問題を合せなし今回の損失補塡の目的を以て向後の取引は一株に就き二錢の積立金を會社に依頼致し候由結構なる申し合せと存じ候、單に今回の傷痍療養に限らず今少し其の範圍を擴大し積立の方針を以て該申合を永續すべきの策を講じ以て一般現物團の基礎の强固を計られたきものと存じ候

▲又奉證も屢々傳へられたる如く取引所としての公認問題は兎に角進捗しつゝあるやに聞き及び候、塚社長も或は其の要務を帶びて近く東上すべしと傳へられ候が是れ又結構なる事と存じ候、されど近來朝鮮の滿洲其他北支那方面に於て斯の如き企てある向も有之候は左程遠からず直ちに政黨者流が喰ひ込み來りて其利益をシャブらんとする狀態顯著なるもの之有候は苦々しきの限り斯の如き油蟲共にシャブられぬ丈けの御用心肝要と存じ候

▲只聞する處によれば近著安東縣の取引所の如き政黨者流に關はる利益をシャブられたる殆ど大連の五品の其れの如きものあり又釜山の米豆取引所の如き彼等の黑き企みの爲め今尚ほ解決出來ざる中若くは天津の取引所の如き擧げ來れば屈指に遑あらざる狀態奉證として此の後途を拜せざる樣幹部として特に注意ありたきものと存じ候

▲内地資金の流入と云へば昨年十月頃より南滿洲興業會社なるものゝ創立事務所奉天驛前三階の一廓に掲げられつゝ有之候ひしが愈來る七日東京に於て名も滿蒙企業會社と改め資本金五百萬圓なれど財界不況の今日なれば五千萬圓に減じて創立總會を開かる、社は名の示す如く專ら滿蒙の諸種の事業經營を始め内地より北支方面に至る迄すべき由是れ亦喜ばしき事に候

▲其内容は此際發表を許さざるものの有之候へば公表せずと雖も其の事業は昨年十二月頃より企者の北支方面に於る活動によりて其基礎漸くなり金融方面に着目し又其他に於て發表方面に對して發表使つまでに相成居候由なれば創立と共に其活動は直ちに開始さるべくさすれば滿蒙方面の開發は益々實現致すべく邦家の爲め將た又日支兩國民の爲め喜ぶべき事と存じ候

二千五百四萬五千九百二十四本(例及び金口實にありてはエル…附切及び金口實一千八百十九萬…スの十彈、スリーキャッスルの四百…五百本…四十九貫二百二十匁…彈、ヘルメットの右彈スピーヤ…

北道繩叺生産減少（大邱）

道内六月中の繩叺生産共同販賣…五百四十枚價格二千八百八十…四圓九十八錢兩者合計價格三千…

…出張郵便局に於ける本年六月中の…爲替貯金の取扱高は爲替受入…れに於て三萬八千二百九十五圓…二千四百七十一圓十三錢…爲替貯金受け入れ…八萬八千…八百三十二圓八十九錢五厘を增…本店に送金をなしたる結果に外…山に傳染病舍新築の計畫あるも…三千圓の…

創始　東洋第一
東京自動車學校
東京京橋

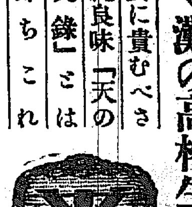
研究科及專科各毎月一日及十六日授業開始▲校外生入學毎月一日入學隨時　研究科專科各毎月一日及十六日▲校外生入學隨時　○夜學科

東京府下不景氣知らずの自動車界に二〇〇名の卒業生は警視廳中稀運轉手試驗に應ぜよ入學毎日

大阪市　大阪自動車講習所
福岡市　福岡自動車講習所
京城府　京城自動車講習所
釜山府　東京自動車學校釜山分校

▽灘の高格生粹銘酒

眞に貴むべき
純良味「天の美祿」とは
即ちこれ



サハノツル

京城本町壹丁目
特約店　佐藤牧商店

官製
平壤無煙煉炭（二ツ穴）

▲冬季に至り候へば輸送困難なる上一時に需要激增の爲年々遺憾の數年來の經驗上炭需に應じ難く候に付此際御用意置願上候

朝鮮總督府平壤鑛業所指定京城以南一手販賣

京城古市町四三番地
東亞商工株式會社
電話七二七番九四番二一九番　振替口座京城五六三番

◎來雨期と衛生經濟

官公吏　銀行會社　各員より注文多大　レインコート　寸法三尺五寸　三尺八寸　拾貳圓五拾錢　拾參圓五拾錢　御希望ニヨリ見本進呈　活躍家の一大福音

曲尺　色合は黑、茶褐、及霜降其他御希望　記念賣出期間七月廿日迄注文急げ

自轉車乘用學生用として注文多大

記念の爲上等鳥打帽子進呈◎

寸法(貳尺五寸)(參尺)(參尺八寸)曲尺(參尺七寸)四尺五寸 四尺八寸 拾圓　拾壹圓　拾參圓
レインコート及マント共各一枚に付上等鳥打帽子壹個を無代添呈す御注文の際は帽子の吋寸法附記あれ
◎御注文の方は住所氏名色合寸法等明記の上御申込相成候はゞ景品の鳥打帽子と同封にて代金引替小包にて御宅迄御送附可仕候

東京芝區白金今里町九六
旭絨布商會
電話高輪二二七六番　振替口座東京五三〇五九番

●急告

▲西鮮のコレラは日一日と猖獗を振ひ七月十一日迄罹病以來五十名を算し漸次各地に蔓延せんとして居ります
▲コレラ病の豫防警戒は先づ蠅を驅除するに限ります
▲蠅の驅除は神阪式棕櫚葉蠅たゝきを使用するに限ります
▲神阪式棕櫚葉蠅たゝきは堅牢にして優美價廉めて嫌く今や鮮滿洲に於ける各地警察署の稱賛を博しきんな山間僻地までも行渡つて居ります
▲一本の定價は十錢但し警察官署の御紹介あれば二割五分を引きます運賃は申受けますがこれはきんな遠いところでも小包郵便にて一本五厘位までしかかゝりません
▲此の廣告を出しますと同時に百本以内の購入申込は御斷りします又見本入用の方は郵券十錢を送り下さい

製造販賣元　平壤壽町百三十四番地　神阪有隣社　電話長七三七番

●いやでも治る
りんびょう七日藥
りん病七日藥

藥名(痳除)慢性頑固症專門強度の藥化學作用早く治る根本療法重い程藥効迅速也七日間服用せよ代金貳圓五拾錢

○注文次第遞送す○各地特約店募集

本舖　大阪市堺筋八幡筋北　山口藥院
振替大阪九八一九番

EUKIRIN
神經衰弱特効　ユーキリン

種類　粉末二五瓦入　錠劑一〇〇錠入　膠囊一〇〇個入

本品ハ本邦蛋白化學ノ泰斗タル帝國大學敎授鈴木博士創製ノ吸收性同化性燐劑ナリ
本品ハ營養ヲ增進シ神經衰弱、陰萎、營養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス。說明書アリ進呈ス

東京室町、大阪平野町東詰　三共株式會社

臺灣總督府專賣局方劑
消毒防臭劑
後藤デシン

本劑は樟腦の副產物より精製したるものにして爽快なる芳香を有し其消毒防臭殺菌力の偉大なるは絕對に他の類似模造品の及ばざる所なり
▣使用方法書は現品に添付せり
▣全國信用ある藥店に販賣せり

最高權威　BB式パイン万年筆　優良無比

五千本賣出　紀念月賦販賣開始

趣旨　僅々數ヶ月にして五千本を賣盡し斯界に新記錄を作れる本萬年筆は今回紀念として江湖の諸士へ遍ねく眞價を認められんが爲茲に多大の犧牲を拂ひ左記方法により一般の御下命に應じ申可候間何卒御賛同陸續御加入の栄を得度候

特徵　萬年筆の生命とする金ペンは舶來品なり　一回のインキ注入は能く數ヶ月間の使用に耐ゆる　瀟洒優美なる點書き心地よき點持ち心地よき點堅牢無比なる點は他の到底模倣し能わぬ萬年筆の缺陷を遺憾なく完備せり

申込方法　御賛同の諸士は電話或は書面にて申込被下候ば直にパイン萬年筆現品元より參上契約申上候申込と同時に一回分三圓申受殘金は月々集金に參上致可候

月賦方法　一本金拾貳圓四ヶ月ヲ以テ全納一回金參圓宛拂込ノ事

月賦締切日　大正九年七月末日迄とす締切後は斷然中止仕候

申込所　京城日報社代理部(電話樺内十九番二十四番)

備考　申込者は京城・龍山在住者に限る

合資會社　京城日報社代理部

慘憺たる纛島の水害（十二日午後）

永登浦の慘狀
全市泥海と化し三名溺死
損害八十萬圓以上の見込

永登浦方面に於ける大洪水の跡を視察したるに郵便局も龍山に劣らず浸水せざりし箇所は僅かに山の手にある商銀社宅と郵便局官舍のみにして他は大抵

床上四尺 の浸水に達し壁は落ち温突は壞たれ見るから濫洪として襲來せる大洪水の如何に物凄かりしかは想像するに難からず十二日は減水後二日目なりしにも拘はらず今猶ほ一歩せる商家妙からず八日午後二時永登浦警察署にては鷺梁津人道橋水準標二十七尺五寸に達し永登浦の東端が浸水し來りしを以て萬一を顧慮し

救助用の 爲め渡舟二隻を徵發し諸般の準備を整へたる折柄泥濘は人家部落に襲來し忽ち十數戸の浸水家屋を見るに至れり依つて署長は堂山里揚平里等警戒の爲め部下を出動せしむ一方警鐘を亂打して消防夫の召集を行ひ荷物運搬其他の任に當らしむ此時既に洪水は限なく永登浦を

泥海と化 し水流急にして危險云ふべからず當永登浦との交通は是が爲め全く杜絶するに至れり午後八時全部浸水し救護所本部を警察に設置し郡廳面事務所、驛、社宅、小學校、金融組合其他各所に人民避難所を設け專ら救助に努む夜のふくるに從つて水勢は

野獸の吼 ゆるが如き音を立て〻家屋と云ふ家屋を土臺より浚ひ行くが如く各所に悲鳴起れ而も應急點燈したる外燈もまもなく消ね暗澹として物凄き事云はん方なし一方焚出しを開始し徹宵救護に努力したるが九日午前八時堂山里より永登浦に向け出發したる渡し舟は

途中激流 に捲込まれて轉覆し六名の中二名は船腹に抱きつきたる儘流され一名は電線にしがみつきて救助を叫び一名は岸に泳ぎつきたるも船員外一名の鮮人は敢なく溺死を遂げたり警察官吏は消防夫中舟に經驗ある渋谷米に棍を取らせ屢々危險を冒し電線にしがみつけるもの腹に抱きつけるものを救助したり又

土管工場 授業師土屋治太郎は分監より本監に報告の爲舟を出したる途中激流に捲込まれ是れ又悽慘なる溺死を遂げ其他將に溺れんとしたるもの妙からず斯くて九日夜半に到り漸く減水を見十日午前十時には路面の露出を見人皆

安堵の胸 を撫でたるが新舊永登浦四百六十戸堂山里百三十戸揚平里二百戸鷺梁津七十戸何れも浸水床上四尺以上に達し永登浦に於て床上に浸水せざりしは僅に十五戸に過ぎず中倒壞家屋十戸半倒壞二十戸を出し商品家屋の損害八十萬圓に達する見込なりと云へり

荒涼矣
滿目唯だ
洪水の後の纛島方面

十二日夕自動車を驅つて纛島の慘たる大洪水の跡を視察すべく現場を踏んだ記者は今更其慘狀に眼を反けざるを得なかつた、纛島一帶は低い土地で漢江の本支流に挾れた島の如き所だけに毎年の

水害に慣 れて十五尺位の出水は平氣であるが今度の出水は七日朝既に十五尺を越ね一時間に五六寸宛増水し八日夜よ三十尺を越ね東拓長安坪の堤を潰で九日朝遂に卅三尺九寸の高さに達したので八日の夜から住民一同も

周章狼狽 し悲鳴を揚げ救ひを求め辛くも面事務所や學校、東拓、水道等に收容されたと云ふ十二日朝は殆んど平水に復して居たが一時は纛島全村濁水に洗はれ畑は流され果樹は折れ家は潰れ壁は落ち慘狀甚だしく水道水源地は一時四百名も避難した相である小高い

丘山に船 の乾上つて居るのも洪水の跡あらし、幸ひ水道水源地には何等の被害なく此處の高地は避難所に宛られた、東拓城川萬府民は水攻めにならずに濟んだ。面事務所は大混雜、ので未だ罹災民が踞まつて食事などをしてゐたのは氣の毒であつた普通學校にも未だ避難民が

各教室に 踞まつてゐる老人や病人が喘ぎつゝある慘狀は目も當てられず歸るべき家は破れ流され食ふべき糧もない罹災民も少くない、模範林や東拓は菓樹園が滅茶々々に虐たけられて素晴らしい損害らしく東拓出張所だけでも

二割の損 だと云ふて居る此外東拓は堤防の決潰と砂氏の被害とで約八九萬圓を越すであらう纛島全村の浸水家屋は千三百六十六戸倒れた家屋が六十二戸流失が二戸で人に死傷はないが家畜家禽は滅茶々々に虐けられてゐる相である一般に東部は損害甚だしく家屋の押し潰れ流れてゐるものが多く路上に

共同便所 が流て來てフン反り返つてゐる等の慘狀は無遠慮に何處にも現ばれて居た痛ましい光景よ記者も最う正視するに忍びず幾度か顔をそらし涙を呑んだ。

十四石
一萬人に分配
焚出し米

今回未曾有の大洪水にて龍山警察署を始め漢江沿岸一帶の地の浸水甚だしく多數の避難民を出せしが此の避難民に對して京城府より給與したる焚出米は十四石八斗二升救助人員一萬百十四人なるが中龍山小學校での焚出米は九石七斗一升救助人員六千三百七十八人元町小學校の焚出米は三石七斗九升人員七千二百九十四人麻浦小學校に於ける焚出救助米は一石三斗二升救助人員四百四十二人にして一人平均一合四勺に當れり

手榴彈
三年目に發見
海底に夥しい

去る大正六年七月二十五日午後十一時五十五分下關碇繋内に於て火藥の大爆發あり十數名の死傷者を出したる際一部火藥紛失せるより當局に於ては極力是れが搜索中の處三箇年を經たる今日爆發附近の海中に於て鐵道省の潛水夫の手により發見せられたるが該火藥は未發の手榴彈にて數量は五百個乃至一千個あり危險千萬なれば直ちに下關水上署に屆出でたれば同署にては直に陸軍省に移牒し目下取除けに付協議中なり（下關特電）

徐樹錚氏廊坊行か

（十三北京北報）徐樹錚氏は京津鐵道に乘り込めるが多分廊坊に向へるならん

會を開き所得税問題に關し協議の結果同日政友會代議士會にて委任されたる範圍に於て修正を斷行することゝせり右は豫て修正方針を決定したり

一、第三種配當課税は政府案に二割控除とあるを四割減とするに修正のこと

二、第三種所得の免除點に[illegible]

一、之が缺陷は第一種法人の所得十分の三を前後は源泉税を課すること

右の結果[illegible]

龍山の死活問題
何して水害を防ぐか
先づ河床の調査が必要

近來未曾有の大洪水に關し京城府廳に三浦內務主任を訪ひ龍山の水害が後日該地の繁榮を阻害するは勿論堤防決潰の慘狀を如何に觀察しつゝありやを訊せば氏は自分として今の場合責任を持つた話しは出來兼ねるがと前提して語る

此度の各地水害に於てまた京城に一つの問題が生れた譯ですが、それよりも先づ吾々は出水の理由に就て大いに研究して見なければなりません勿論河川整理とか現在の堤防に對する研究等は本府や土木課の方で具體的調査がある筈ですが府としても本府から堤防の問題や、如何にして此の水害を防止するやに就て諮問を受けた場合にはより善い改善の意見を持つて居なければならない次第です

私一個人として之を觀るに漢江の本流の方面に就て考察すると共に年々河床が上りつゝあるのではないかを研究して見る必要があると思ひます、元來本流の完全を期して置けば此度の如うな場合でも確かに二寸の差を生じて例へ水量が三十四尺のものも三十二尺で災害を免れる場合があります此の意味に於て現在の麻浦、二村洞或ひは纛島方面へ流れつゝある水の本流を統一すると云ふ事が必要だらうと思はれます

若し現在の儘で漢江の堤防を北儘に放棄してゐたならば龍山の繁榮は言ふ迄も無く根本から龍山の生命は失はれる譯だと思ひます、水と繁榮は直接關係を有して居り市街と漢江の接近と云ふものに依つて一面龍山の繁榮を促進する事も出來るので年中行事の如く龍山が水害に遭遇してはその將來が甚だ憂慮される譯です

內地の長崎にしろ大阪にしろ又は上海の如き繁華な土地は皆水に依つて伸びる力を可成り多く持つてゐると思ひます何んとか方法を講じて市民と共にその禍を後に留めぬ如うにし度いものです

家庭欄
脚氣
病原が判らぬ

▲脚氣が發るに就ては筆者も一寸述べて見たいが、如何なる物の缺乏に依るかは未だ確定されてゐない ▲但し白米を食する人に多いのと、又一つには動物に白米のみを食はせて脚氣を起した事などから考へて脚氣と白米とに關係があるのではないかと云ふのがあるに依る ▲又、近來我國に於て米の精白が進み食品が精撰される者も少くはないが、精白により食品の營養を損じ脚氣を[illegible]來脚氣患者が非常に減少したやうにも云はれてゐる

▲右に述べた如くであるから深く脚氣を防ぐと云ふには一般の衛生事項に注意するは勿論「脚氣を發す」の注意を怠らないことが第一に行はれなくてはならない

即ち食物は一方に偏せざるべく一成るものなるべく蛋白質或はヒタミン等營養上缺くべからざる成分を攝るに遺憾なきを期すること

（二）食物の新鮮なるものを選み、ヒタミン其他の營養上重要なる成分を極めて分解せず傷し易い陳腐なる食物を避けること

▲（三）既に脚氣に罹つた者は偏食を避け新鮮の食物を攝るに努めば其他の事項は例へば轉地の如きは從前の如く之を重大視して敢行しなくてはならない理由はない

▲特に脚氣患者が心臟の機能を害して居る場合など轉地して却つてそのために生命を失ふに至る者も少くない此等の點は殊に注意すべきである（をはり）

天一坊判決
懲役一年六月

十日午前元商業會議所書記長自稱法學士松原常雄（三九）の詐欺被告事件に對する判決あり鮎川裁判長は被告を懲役一年六月に處する旨言渡したるが松原は多分控訴すべしと

万病に特效ある紅蔘の粉末
贈答品として適當

朝鮮の特產物たる開城の紅蔘は萬病に効顯著しとて支那南洋方面に大に輸出され高貴品だから朝鮮總督府の有力な歳入となつてゐる然し何分高價なため容易に普通人の手に入りにくいが總督府では一昨年來紅蔘を粉末としこれを成るべく低廉に一般に供給する事とし三井物產を通じ昨年來少量の賣出しをやつたが成績良好なため本年は相當多量の製品を內地と朝鮮に賣り捌かしむる事となつた該品は二十匁入り一個二圓八十錢であるが紅蔘としての實價は二十圓以上を超ゆるものと云ふ一手販賣は三井物產で直接の賣り捌きは內地に於ては京城の三越吳服店本支店京城は久野傳次郎商店大邱釜山は日下安藤中元等の贈答品として適當であらう尚ほ紅蔘の効力は神經衰弱に最もよく糖尿病身體衰弱に効あるは勿論之を常用してゐれば流感に罹らぬとも云はれてゐる

農學校生徒の盟休

平壤公立農學校生徒第一學年生徒四十三名は七月一日より徐々に休校し現在に至り一名の登校者をも見ざるに至りたるが之が原因につきては學務當局に於て精密に調査中の由なるも實習時間の永きと其他二三の事由あるものゝ如しと（平壤）

虎口を脫す
馬賊の人質になつた邦人

間島に於て馬賊に拉し去られ一時殺害說を流布された商人井川駒之助の使用人菅原甚太郎（二二）は七月五日寧古塔に生還したる旨同地の井口居留民會長より通知ありたるが、同人は東寧縣芬菊の山中に於て支那官兵の爲めに救ひ出され其の保護を受けて前記寧古塔に生還した次第で右は咸北道第三部よりも井川方に通知あり又豫て其の搜查を依賴して居た豆滿江林業會社間島出張所員中野外吉氏よりも同方に通知があつたので生還の事實は確實である之を聞いた井川氏は大に喜んで直ちに本人に向つて相當の旅費を送附すべく其の送達方に就て其の筋より適當の指圖を仰ぎ度く淸津警察署に願ひ出で同署では間島領事館に照會中である（淸津）

小兒撤水自動車に轢かる

十二日午後四時頃平壤府の撤水自動車が大和町島本商店前まで進行し來りたる際その附近なる井出原豆腐店の小兒辰雄（五）が折柄徐行せる右自動車放水管より放出する水を手にて掬ひ居たるが自動車は方向を轉んぜんとして後進したるを以て辰雄は不意を喰つて道路に仰向きに打ち倒れ左足膝下に骨に達する重傷其他數箇所の重症及背部擦過傷を受けたり被害者は直に附近平壤醫院に擔ぎ込み應急手當を施したるが餘病を併發せざる限り生命に別條なるべしと（平壤）

秩父白地片側帶
金六圓九十錢均一
中元進物最適地方送達
京城 秩 ちゞや
丈夫なことモスの三倍
氣のきいた新柄ぞろひ

緩衝機
洪水豫報機關を設置せよ
（投書歡迎）
一府民より

今度の洪水は古今未曾有の大洪水で慘害其極に達しました之に從つて切に其必要を感じ又是非此際當局に於て手をつけて頂きたいと思ふのは洪水豫報機關であります

洪水豫報は上流にある量水標の水位又は雨量計に表はれたる降雨に依て最も關係重大なる下流地方に起るべき水位及其時刻を推定し電報又は電話等により迅速に之を適當の方法で流地方に通告するなり又は警報を揭げるなりして推定浸水區域及水深等を管內へ通告するなりの方法で豫め知らしめるのであります。そうすると洪水に關係ある人々は何時の位置に何尺で此の位浸水したから今度もどの位浸水するとか又は何處に積んである荷物は取入れねばならぬとか或は何處の水門は閉鎖せねばならぬとか相當の豫防方法を洪水の來襲前に講ずる事が出來る答です

洪水の最中刻々水位は增して來る狀態にある時『上流何處其處の量水標はもう絶頂に達した』とか『まだ〱何尺以上はふへぬ』とかの豫報が來たら『もう床下に入つた』『まだ〱大丈夫』などゝ云ふて不安に居る人が論精神上にもどの位安心を得ることでせう避難や荷物片付等の便宜でもありますか

歐米各國や內地は之等の設備が夫々に設けられて居る筈ですが京城も此の際警備上斯かる設備を是非設けて頂きたいものであります

鮮人の敵討

討れたのは內地人郵便局より出張滯在中の伊井郡延永洞警察五郎（五）は六日朝茂山郡延永洞比敬方にて同地民白格須（三）と喧嘩し果樹銃を以て射殺したるが警五郎は其の場にて白の弟白吉一（三）の爲め其の亂銃に撲殺されたり白は七日茂山署に逮捕されたり

鐵道村の掃除

龍山鐵道社宅にありては水害後の衛生狀態を顧慮し大僕の慨の係を以て全社宅に對し大淸潔法を執行すべしと

小糸の藝風

博多名物の小糸一座は初日以來頗る好人氣、二日目の夜小柿の辨慶が面白く、辟に誰味があるので辨慶もよく、上出來であつた。初音の梅由、長吉も好い所があつた、斬つて聽衆を動かしたのは感心、小糸の酒屋、前に比べると大分鮮み帶た故めて若々しいだらうと思つた千兵衛や宗岸の情があつてよかつた其の獨吟から與は一流の節廻しで小糸は繼いでから語り口が老熟して來たのは爭はれぬもの誰りが何うさかと云ふのは野暮だ、この一座は前代小糸の語り風を受けて嗣心に研究してゐるのは女太夫として全く感服の外は無い▲大切はこの座の獨特の文人廻り、小糸の義經に扮した初音の巧みな鋒踊が大受けであつた。

紹介

南大門通青木堂支店にては此一日より店內一齊に中元及び暑中贈答品の賣出しを開始せるが今は歐州大戰後絕えて久しく輸入を見ざりし各國の名產珍品を揃へ就中各種洋酒類の罐入果物讃又砂糖漬類及其菓從其さては菓子の攝入罐入等色とり〲の色彩其の容器の美術的意匠と相俟つて好評を博し殊に階上カフエーのアイスクリームは買上金每に接待券一葉を添付し其他商店は東京本店共通の者を出して居る

演藝案內

大正館 京本町八丁目 電八七三 本日より特別大寫眞
▲實寫 漢江舞踏の實況 ▲活劇 ビル・ウエスト氏の探偵 ▲ビリー・ウエスト氏大活劇 ▲連續 貞操の合札 全六巻 ▲新派悲劇 俠客花川戸助六 全六巻

黄金館 黄金町 電一二〇七 七月九日より提供 大會夏期 ▲新派悲劇 天の惠み ▲新派悲劇 愛の渦 全五巻

喜樂館 本町一丁目 電九七番 ▲四ツ谷七不思議 ▲ニコ〱馬鹿間違ひ 全二巻

浪花館 明治町 電話一六〇番 七月一日より浪花節

壽館 本町七丁目 電話七八五 ▲二日目 大歌舞伎一座

文樂座 本町五丁目 電話三三八番 豐竹小糸一座 二日目 大入滿員御禮

連絡船上陸客

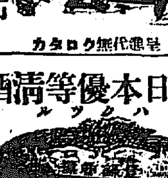
●十一日朝高麗丸一、二等船客 [illegible]

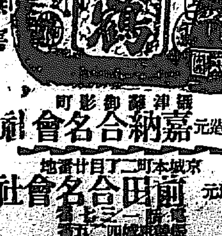
時計貴金屬 大賣出し
中元割引
特別割引 五分引 五割引
京城本町 木村時計店
電話四七一番 振替京城壹九〇番

謝水害御見舞 宮崎組 宮崎吉太郎 京城府漢江通十一番地 電話龍山八四二番
謝水害御見舞 山崎寫眞館 館主 山崎榮喜藏 龍山漢江通一丁目 電話六二六番
謝水害御見舞 三福 壽し 御料理 龍山驛前 電話四三八番
謝水害御見舞 合資會社 中村運送店 龍山驛前 電話三三三番
謝水害御見舞 松居支店 京城府龍山停車場前 食料雜貨 西口武次郎 電話七五五番
謝水害御見舞 新聞雜誌 盛文堂支店 京城龍山漢江通 電話四一四番
謝水害御見舞 京城府龍山驛前 京 河村組運送店 店主 金井龜一 電話三七番
謝水害御見舞 東 ふ亭 藤野玄藏 龍山漢江通二丁目 電話四〇三番
謝水害御見舞 龍山漢江通十三番地 和洋料理 食料品 雜貨酒 具一式 上村喜七 電話八四六番 振替京城四三七八番
謝水害御見舞 理髮店 伊藤伊平 龍山郵便局前
▼ピアノオルガン 樂器と蓄音器 山口樂器店 京城本町二丁目 振替口座五二五 カタログ無代進呈

謝水害御見舞 旅館 大陽館 龍山停車場前 電話一六番
謝水害御見舞 新玉旅館 京城龍山漢江通 電話六二〇番
謝水害御見舞 陸軍諸官衙御用達 龍山驛前 協同組運送店
謝水害御見舞 大和社 大和與次郎 京城府 電話長一四五〇番
謝水害御見舞 京城刺繡講習所 京城漢江通十五番地十八銀行横
謝水害御見舞 有馬組龍山出張所 京城漢江通 電話長三一七番
謝水害御見舞 中島早太郎 京城府漢江通十三 電話二六四番
謝浸水御見舞 荒井組 龍山漢江通十一番地
今回空前の大洪水に際し當牧場も交通杜絕其狀況不明の爲多大の御厚意を煩はし候處御蔭を以て人畜共に事別に被害も無之候間御安神被下度不取敢紙上を以て御厚情を感謝致し候敬具
汝矣島 荒井牧場

大日本優等淸酒 ハクツル 品質純良 衛生無害
製造元 嘉納合名會社 神戶御影町
發賣元 前田合名會社 京城本町二丁目廿番地





宋小鹿氏は十一日夜家族同伴哈爾賓に赴けり（奉天特電）

…改友會にては十一日午後六時半より永井町首相官邸にて役員幹部…

探涼思ひく 馬山の大公望（四）

銀鱗潑剌として躍る 退屈知らずの釣魚の樂み

矢橋小葩

彼は山を降りて馬山神社に近回り、青葉の下を大手を振つゝ町に出た。こゝにも不景氣風は吹いたと見え、呉服店こ云ふ呉服店には『投げ賣』『大安賣』のビラが雨上りの風に搖いでゐた。町には料理屋が可なり多い。大き者では望月を第一とし東雲、吾月、常盤、琵琶湖亭、福家などが望月を中心として散在してゐる。項足にお白粉の濃い、銀杏返しや潰し島田なぞが、中形の浴衣の裾から紅い蹴出をちらつかせては往來してゐる。東雲の二階からは『勸進帳』の絃が洩れてゐた。馬山には娼家がない。斯うした家には二枚鑑札の女がゐて娼婦を兼用し放埒の子の本能を満足せしめてゐるのだ。

彼は足を轉じて停車場に出た。そして驛長の案内で海水浴場豫定地を視察した。豫定地は鐵道の北方倉庫後方の海岸である。海は爛熟した日光に反射してプラチナ色に輝いてゐる。この海一帶は遠淺で、約一町先までは乳の邊しかないさうである。馬山繁榮會の人々は茲に海水浴場を設けて、避暑客を集め度いと努力してゐる、約二千圓を投じ道路を設定し、海濱借入の件を目下府と驛こに交渉中である。思ひ切つて青島や星ケ浦のやうな設備をしたなら、絶好の海水浴場となるであらう。

馬山の樂みは是からが更に趣きが深い、一竿の風月が鏡の如き入江に釣る時は、潑剌として銀鱗が躍る。馬山の大公望こ人も許し自らも任じてゐる馬山病院長の德永君は云ふ迄もなく、奥田檢事、行德女學校長、小栗川警察署長なごは暇さへあれば扁舟に掉し遠く沖に出ては釣に餘念がないさうだ。ちぬ、くさび、小鯛、きす、あぶらめなご一時間に數十尾は譯はない、若し夫遠く足を動かせば、鎮山川、中里川なごでは、鮎、鰻、鯰なご漁れる、夥しく漁獲されるさうな。避暑客は海水浴の前後に釣に耽り長い夏の一日を短い思ひするさの事である。

先の軍司令部軍醫部長佐藤博士、總督府醫院の久保博士等も馬山謳歌者の最たるもので嘗て一夏を茲で送つたものである、先頃永眠した三島氏も病を養つて居た事がある、別莊には三浦彌五郎君や、白仁關東長官の令兄杉森此馬君などが最勝の地を占めてゐる。

月夜の美しさは譬へやうもない、月は銀と碎け金と散つて納涼の人の足許にまで流れる、若し夫れ觀海亭に杖を曳かんか、崔孤雲の古跡に昔を忍ぶも興深く、鍋島城址の古趾に大明征役の壯舉を思ふも興趣が深い。

彼は避暑客の爲め借家を求むべく各方面を探したが、南鮮鐵道敷設の爲め從來の空家は大抵塞がつてゐた。家族同伴馬山に暑を避けやうとするには二階借りで我慢しなければならぬ。疊一枚一圓の割なら快よく貸して呉れる、野菜も豐富である。彼は新聞記者と云ふ職業に從事してさへゐなければ、茲に家族を伴ひ一夏を送らうものをと思つた。

其夜、彼は馬山に盡きぬ名殘を惜んで川發した。彼の夢には當分馬山の海が輝くであらう。

傍聽者の身體檢査 ＝孫秉熙一味の續行公判＝

孫一味の公判 ＝續行第二日＝

傍聽者深更より詰めかく 遂に傍聽禁止となる

孫秉熙を中心とする朝鮮獨立運動の中堅團体崔麟以下四十六名の第二回公判は十三日貞洞鐵道部階下特別法廷で續行せられた、天道敎主孫秉熙は分離して公判に附せらるべく決定されたもの、傍聽者は相變らず熱心で

午前二時 頃より京城地方法院正門の鐵柵に倚つて便所へも立得ず傍聽券を貰ふべき順序を失ふまいとして居た午前六時開門と供に百五十の傍聽券は飛ぶやうに交附され遂に傍聽券にプレミヤムが附き五圓で賣れたなごと噂されてゐた。被告等は午前六時半頃より昨日通り西大門監獄未決監より送られて被告席に居並び傍聽者亦

傍聽席に 溢れてゐたが昨日より法廷の空氣は憎れ氣味であつた一般傍聽席に四五の外人が詰かけてゐたのこ特別傍聽人席の兒島中將こが人目を惹いてゐた。

前八時五十分、辯護人團を接して入廷した同九時突如起立！の叫びに被告一同起立し廷内の空氣亦緊張するや係官立川裁判長以下入廷して法段に著く。被告の指名點呼に次いで

立川部長 の低音が昨日に續いて公判を續行する旨を宣し被告崔麟先づ留木に進んで事實審問に入る

被告崔麟の申立 傍聽禁止さる

先づ崔麟こ孫この關係の審理に入るや被告崔麟は『林駐韓公使の勸告に依り我が貴族中より皇室の特派留學生五十名を日本に送る事こなり自分も其一人こなり卅五年內地へ留學し大阪にて病氣中、孫秉熙こ相識り今日に及べるが其關係は

恩師と 學生の如きものです。其後日清日露の兩戰役に於いて日本帝國の大陸に對する努力は自分等も窃に喜んでゐたが日支露三國の平均を破つて朝鮮の併合を斷行し日本の朝鮮に對した點に就いては自分の意見こ相容れず爾後日本の對朝鮮政策は益々自分等の喜ばざる所こなつた……』遂に崔麟は通譯をもごかしがつて美事な

內地語 で裁判長の問に答へ大正七年十一月廿八日朝鮮獨立運動の協議を孫秉熙、權東鎭、吳世昌等こ爲したる顚末に及ぶや立川裁判長は起つて公判審理の經過が社會の安寧を紊亂すべきものなるを以て朝鮮刑事令卅九條同民事令卅二條裁判所構成法に依り公安を維持すべく茲に傍聽を

禁止す る旨の宣告があり傍聽人一同退廷時に午前九時十五分公判は全く秘密裡に崔麟の審問は續けられた

廷外で一騷 傍聽禁止で

傍聽禁止になつて追出された一般傍聽者は廷外に出て一時喧騷を極めたが森西大門署長の注意で一同引率されて構內續きの高等法院人民控所で一時休憩することになり新聞記者連は控室に退いて盛んに氣焰を飛ばして居る。辯護人迄が禁止で退廷したもの、廷丁が呼に來て再び入廷は面白かつた。

傍聽禁止解かる

傍聽者は再び身體檢査 申立の滑稽で笑聲起る

傍聽禁止の爲め公判廷を出た傍聽者は高等法院構内の芝生に群居して傍聽解禁を俟つ折柄驟雨沛然こして至り休憩所に逃げ迷ふを警戒中の警官に拙せられて公判廷の左側軒下に宿る十一時十分傍聽禁止を解かれて待ち倦んだ傍聽者は

身體檢査 を受け乍ら公判廷入口に殺到する聽て被告四十七名並に裁判長以下出席すると共に崔麟を呼び出し恐の如く訊問開始を續行先づ立川裁判長は豫審終結決定書に基き天道敎が基督敎に對し共に獨立運動をすべく交渉を開始した状態を訊し崔は之に對して

流暢なる 日本語を以て更に躊躇する處もなく答辯して時々は大正八年二月上旬の思出を辿るべく額に手を當て乍ら時に云ひ澁る事もあつたが訊問を了り崔南善代つて訊問さる『お前は獨立運動の相談に對して怎うごふ態度を取つたか』『內心努力もするが自分は

學者とし て世に立つ者であるのみならず學校の關係者でもあるので總ての相談は斷つたのですが崔麟が宣言書は貴方の作つた方がよからう、そうして自分に換て作れこ云つたので、秘密も守るこ約束でした』

申込む事 もある『被告は當時官憲の注意を恐れて人に逢なかつたこ云ふが怎うだ』『官憲の注意を恐れたからではありません』總て簡單に終つて宋鎭禹が呼び出される最初から終りまで私は元來記憶に乏しいので久しい事は忘れました』こ

傍聽席を 笑はせ乍ら大抵の事は『左樣であります』こ答へる『お前は獨立運動の爲めに誰へ交渉する事になつておつたか朴泳孝こ云ふが交渉した事があるか』『朴泳孝ではありましたが最初から出來ないこ思つてゐました』こ今度は

係り官を 笑はせる次に玄相允こなる公判廷悄氣返り一向要領を得がたい答辯で傍聽席では退廷する人もあつた（二時半記）

羅皇儲御參內

皇后陛下皇太子殿下に御對面御退京の御挨拶

廿七日御歸國の途に就かせらる

去月二十三日御入京あらせられ皇帝を始め奉り熱誠なる御歡待を受けさせられたる羅馬尼皇太子カロル親王殿下は愈々十二日各隨員を隨へさせられ御參內皇后陛下並に皇太子殿下に御對面御退京の御挨拶あり鳳凰間に於ける午餐會に參列あらせられたるが十四日午前九時二十五分東京驛發の列車にて御退京あらせられ名古屋神戸地方御巡遊の後廿七日コレア丸にて米國へ向はせらるべしと（東京電報）

白波を蹴つて

龍山步兵聯隊の水泳 十五日より愈々開始

龍山步兵兩聯隊にては來る十五日より漢江右岸西氷庫の長汀に於て水泳を開始する事こなり步兵第七十八聯隊は週數日に又步兵第七十九聯隊は奇數日に交々演練八月末日を以て終了の豫定なるが右は遊泳槽手を演練し戰事隊の河川通過に際し支障無からしめ且優秀者をして戰時特別任務に服し得る能力を養成せしむるが目的にて遊泳は先ず劣者に要領を會得せしむるを主眼こし熟練なる者に對しては益々技兩を向上せしむるにあり隊を三班に分かち一班毎に敎官こして將校准士官助敎こして下士を各中隊より出さしめ監督は佐官を充て軍醫下士傳令看護長看護卒を若干名出場せしめ萬一の場合に應ぜしめ風紀衛生に注意せしめ健康診斷を勵行する由、殿簾にして入水前後軍醫に診斷せしめ江水して危險こなるか又は衛生上の顧慮より必要こ認むる時は中止する事あるべく游泳場は約四尺水深の線、正面幅員五十米突にして游泳線を標止すべし、十五日より元氣潑溂たる兵卒が白波を蹴つて演練するさまは西氷庫の壯觀たるを失はざるべし

日比谷公園で 普選聯合懇親會

五千の警官警戒物々し 群集警官こ衝突す

十二日午後六時より日比谷公園キリン亭にて普選聯合懇親會を開き各地より參加せる諸團體幹部連激烈なる演説を試み政友會代議士の演説ありて七時懇親會を閉ぢたり同公園內にて國民黨こ群衆こ衝突し神樂坂署警官一名は柳枇工を締上げ昏倒せしめたる騷擾を極めたるが警視廳よりは約五千の巡查出張し頗る嚴重なる警戒をなし各門を閉鎖し極端なる警戒振りを示したるが當日の橫暴を痛罵せる懇親會ありて尾崎行雄氏一場の演説を試み十時二十分散會せり同夜檢束されたるもの數名に及べり（東京電報）

水田に背面墜落

近藤、源兩中尉重傷 發動機の自由を失ひ大音響を發して墜落

三重縣秋野原航空射擊班砲兵中尉近藤清三郎氏(三)は十二日午前七時二十分頃富機關銃付モ式百馬力三百六十三號機を操縦し砲兵中尉源省三氏(三)こ同乘練習中百五十米突の上空に於て突然發動機に故障を生じたるより機首を場內に向け着陸せんこするも刹那發動機は全く自由を失ひ場の北端より二十丁を隔てたる度會郡野寄村の水田に大音響を發して墜落し機體は大破壞をなし兩中尉は水田中に跳飛ばされ人事不省に陷りたるが赤羽班長寺師軍醫等直ちに自動車を飛ばし近て現場に驅つけ兩中尉に應急手當を加へ十五分間にて蘇生し近藤中尉は胸部足部を強く壓迫したるものなるが兩中尉こも生命には別條無し又今回の墜落は背面墜落こ稱し我國飛行界最初のものなり（秋野原電報）

大演習の兩指揮官

本郷、仁田原兩大將か

今秋筑豊の野に於て舉行せらるべき陸軍特別大演習の兩軍指揮官は本鄉房太郎仁田原重行兩大將の呼聲高く或は兩將軍に決定するやも測られずと（東京電報）

百萬圓の損害

水害の始末略完成 女の屍體に蛇が絡つて居たなどの挿話もある

大洪水に痛められた龍山は十一日を以て既に後始末がスツカリ完成したこはいふもの、被害地を廻つて見るこ惡戯小僧が玩具を引ツくり返したやうな亂雜さを呈して居る、漢江の濁流に

女の屍體 が流されて行くこ其の手や足に澤山の蛇が絡まり付いて居たこいふ悽惨な實見や、水の中に浮いたやうな二階に窓から首を出しては水攻に會つて居ながら喉が渴き切つて困つたこいふやうな話や、そんな挿話を殘して漸く大洪水に對する京城府廳の被害調查は纔かに三日中には之れを詳細に發表するそうであるが。何しろ三千五百戶こいふ

浸水家屋 を出したのであるから損害を價額に見積ると決して尠くはない、其の概算だこいふ處を聞くこ一戶平均二百圓の損害だこいふから三千五百戶で既に六十萬圓、鐵道倉庫の粟の損害十萬圓、東拓の龍山倉庫にあつた葉煙草の

損害幾何 こいふ風に數へ立て、來るこ優に百萬圓を下るまいこの觀測である、不景氣の鼻先に此麼不意打があるなぞ泣面に蜂の爲體だ。

尼港殉難義捐琵琶演奏會 ＝十二日夜京城公會堂に於て＝

還るに家無く 行くに家無し

二村洞東部の住民 總督官邸附近に假小屋建設 辛うじて雨露を凌ぐ

遭般の水害は各所に慘澹たる光景を示し視察者をしておのづから慄然たらしむる者あるが殊に慘狀を極めたるは二村洞東部住民にして該部落十三戶の中七戶流失し三戶全潰し三戶床上に浸水し辛うじて倒壞を免れたるも

壁落ち 潮染朽ちて全く居住する能はず住民六十五名の中十名は親戚故舊を賴りて他に移住したるも五十四名の住民は迅速と共に龍山總督官邸附近に避難したる儘行くに家無く歸るに家無ければ止むを得ず同所に急造藁小屋を建て辛うじて

雨露を 凌ぎつゝあるなれり が人影稀なる地方こて是を認むるもの無く十日に至り京城府龍山出張所の知る處こなり目下救助に努めつゝあり岡田主任は十三日正午事情を齋藤府尹に具申し協議の上適當なる

處置を 講ずる由なるが五十四名の鮮人は懇切なる救助方に感激し吏員の姿を見るや何れも手を合せん許りに感謝し其の厚情を悅び居れり

豪雨こ鐵道

中央鐵道 大邱浦項線は連日の降雨に依り線路浸水の爲不通こなりしが十一日より四方安康間約一丁許りの處を徒步連絡に依り浦項迄開通せしめ旅客の輸送をなす事こなれり

以ての外の流言

罹災民救護に對する當局の措置は公平だ 內鮮人の區別は絕對にない と府當局者語る

過般の大洪水に就いて京城近郊は見るも傷しい慘害を受け罹災地では流失家屋溺死者も逐日發見されつゝあるが府當局も警察側も目下調查中で未だ慘害の確定的數字は出來てゐないが茲兩三日中に

各方面共に 慘害の統計が發表さるべしこ云ふ。大洪水に對する當局の警戒救護は內地人に厚く鮮人に薄かつたこ云ふ噂が一部鮮人間に喧しいので此噂を傳へるこ府當局の某氏は語る『そんな莫迦な事があるものですか……我々は

內鮮人の 區別なぞなく救助してゐます現に八日午後二村洞方面救助の場合なぞ我々自ら船を漕いで鮮人救護に從事してゐますし又漢江の凸角で支那人六名を救つた場合も全く民族なんて事は念頭に有りません從つて我々が內地人に厚い救護をしたなぞこは以ての外です。府の管外ですが西氷庫附近の救助は警察側の

決死隊が 獨流を押し切つて鮮人部落を救ひ出してゐます、此通りの實狀ですから噂は一部鮮人のユガミか或は何か爲にする人の流言でせう。炊き出で擔軍連が日に五六度も貰ひに來たので斷つた實例がありますし酷ひのは擔軍に炊き出の包を結付けた儘次の炊き出を貰ひに來る始末なので大目玉を食はせましたが或は此邊を皮相的に見た人からでも出た噂でせうか』

甚だ迷惑な次第

官憲の救援は勿論公平 今野保安課長談

更に京畿道第三部の今野保安課長に此噂を傳へるこ今野氏は語る『龍山東部附近の住民は洪水に慣れてゐて舊韓國時代からの傳統もあり殆ご自治的に洪水の救助を實行し官憲等の世話にならぬ習慣があるので今度も八九兩日は實地で罹災民を調べたが適當の

應急策が 完全です殊に數年前茲で炊き出しをやつたのですが受取に來るものがなく罹災民は自身も充分慣てゐるし其親戚知己で立派に始末してゐるので本年も救護警戒は住民の希望に副ふ如く實行しました之に反して舊龍山の住民は大丈夫こ思つた旭川堤防を洪水が越わたので周章狼狽したので官憲の救助は一時此方面にベストを盡しましたが我々こして內鮮人の

區別など 考へた事は絕對に無い。噂が出たこしたら我々は頗る迷惑ですが要は此噂は現狀を見てゐない事理を識つてゐない人の言葉です』

華かな公會堂の一夜

盛なりし琵琶演奏大會 尼港殉難者義捐の爲に

京城筑前琵琶敎師有志者一同主催本社後援の尼港殉難者義捐琵琶演奏大會は豫定通り十二日午後六時より長谷川町公會堂に於て開催されたき此日は定刻前既に數百の聽衆會場に押し寄せ電光燦こして輝く內に椅子の音騷然こ起り公會堂の壯麗な建築に聽衆の眼を睜り乍ら一齊に白扇の翩めく狀は宛ら胡蝶の花に戲れるが如く輕く蠅叩のやうな塲內に永井旭操女史琵琶を携へて壇上に現はれるや破るゝが如き拍手に迎へられ午後七時半さしもの廣い公會堂も寸隙を剩さず入場者は無慮一千こ註せられ中頃こなるや有志者の挨拶ありて終る頃入氣に蒸されて卒倒したる人をさへ出し中村蒲園氏作『尼港』は以來の入場者を收めた尙ほ當日の聽衆を感動させ琵琶會初まつて以來の盛會なりき坂井旭水氏は殿初より同會の爲に盡力され村旭汀氏は病猫をおして出演され共に感謝に堪へないものがあつた

臺灣は虎疫流行指定地

（在上海帝國總領事館外務省電報）臺灣は虎列拉流行地に指定せられ同地より到着せる船舶は七月七日より港務部より派遣の醫師に依り檢疫されつゝあり（東京電報）

サーカス團 愈十四日限り

日延興行中なる伊太利サーカス團は愈々十四日限りにて京城興行を打揚げ南鮮地方に赴く筈なるが十四日は入場料半額にて晝夜二回興行すべし

運動界

法大野球團 十五日夜入城

法政大學野球團は愈々十五日夜入城し十六日より七八九日と四日毎日京城中學校運動場で野球試合を舉行する筈であるが體育協會は此四回戰に亘つて會費として金一圓を會員は二十錢を徵收する事になりたるが既に各方面に入場券を發賣しつゝあれば希望者は至急本社內野崎苑に申込まるべし

▲荒木氏榮轉 京城電氣會社々員荒木庄太郎氏は今回馬山支店に榮轉十五日出發の筈同社運動部の爲め打擊こ云ふべし

愈々明十四日限り
伊太利サーカス團
（午後三時半 午後八時半）二回
十六日より四日間
仁川開演

木浦の合併大相撲

晴天大入り初日（十二日）の重なる勝負左の如し（木浦電報）

平錦（よりきり）若湊
大島（あびせ）大戶平
上州山（よりきり）藤の川
三杉磯（あびせ）宮城山
鳳（したて）瀨戶山

二日取組

（大島 平錦 瀨戶山）
（小牛田山 大戶平 藤の川）
（上州山 宮城山）
（三杉磯 鳳）

最高溫度 八十一度

十三日午後二時本社編輯局

各地の溫度（十一日）

大邱	曇	七十四度五
釜山		七十九度
元山	晴	七十六度八
咸興		七十八度
安東縣	曇	八十六度
大連	曇後晴	八十四度
奉天		九十四度
成興	晴天	九十二度五

水害義捐金

現金

▲五百圓 昌德宮
▲五圓 京城祖鮮飴
▲一圓 軍附屬會下士、
▲二十圓 京城竹添町李相觀
▲五圓 南大門小學生徒早田恭三
▲二圓五十錢 同 早田進策
▲二圓五十錢 同 大村精一
▲十圓 京城李瑛與
▲十五圓 府[illegible]
▲五圓 同 金在根
▲五圓 同 金泰鎬
▲十圓 同 崔炳斗
▲二十圓 同 株式會社東益社 株式會社東益社李聯會
▲一圓 李欽
▲一圓 府金尙鎬
▲一圓 同 崔明鉉
▲一圓 同 金鎭沃
▲一圓 同 文鍾鉉
▲一圓 同 金東淑
▲一圓 同 韓規錫
▲一圓 同 李源建
▲五圓 同 金東元
▲五圓 同 金寅健
▲二十圓 南大門通古河商事株式會社京城出張所
▲十圓 旭町千歲
▲五圓 同 千歲仲居一同
▲一圓 京城鄭備秀
▲五圓 同 仁寺洞鄭仁好
▲三十圓 同 永樂町關藤太郎
▲五圓 同 日出町田中常吉
▲五圓 同 長谷川町日本基督敎會日曜學校生徒一同
▲十圓 同 昭格洞白殷澤
▲五圓 同 貫金町鈴木兩藏
▲二圓 同 壽町松原榮太郎
▲二圓 同 苑洞可知準一
▲二圓 龍江面高丙環
▲一圓五十錢 京城明治町岩宮[illegible]
▲一圓 鍾路五金吉勳
▲一圓 本町三大和勘治郎
▲一圓 都染洞無名氏
▲一圓 江原道論蓮邑高光錫
▲一圓 苑洞洪殷秀
▲五十錢 樓下洞張莪鉉
▲五十錢 齋松洞李文甚
▲五十錢 壽町松田正夫
▲一圓 社稷洞金彰行
▲一圓 崇仁洞朴飛俊
▲一圓 京城電氣會社營業課[illegible]
▲一圓 同 屋田新
▲一圓 同 渡邊保
▲一圓 同 松山久榮
▲五十錢 同 總水カツヱ
▲十圓 鍾路東洋生命保險會社
▲一圓 矢部近次郎
▲十圓 桂洞鄭世昶
▲十圓 勸農洞權泰楨
▲五十錢 [illegible]洞一八七無名氏
▲[illegible] 子爵李夏榮
▲五十圓 南大門通土佐[illegible]
▲四十圓 長谷川町阿野[illegible]
▲三十圓 高瀨京城支店

小計 京城印刷所石原、所得稅員一同 九百九十二圓五十錢
累計 四千三百八十四圓[illegible]
內 二圓 發貨租氏分重複に付 差引四千三百七十八圓[illegible]

今年は水泳廢止
滿鐵沿線の各學校では
夏よりは冬の準備
耐寒服裝に就いて研究

滿鐵沿線の各學校の兒童は年々兒童が増加して現在では其數一萬人を超過し相である、一番多いのは撫順の二千六百名、安東の千百名、奉天の千四百五十名、鞍山の大百名一遼陽長春の各五百五十名等で逐年益

増加の傾向 がある然るに是迄毎年この多數の兒童の内から上級生約二割の二千名を大連郊外に送つて夏期水泳を行ふたものである、然るに今年は種々の理由によりて此の夏休み中の水泳を全然廢止する事となつたに就ては種々不平の聲も聞きまた批難の聲もちよい／＼耳に這入る

一利一害は 免れぬもの
のこして當局者の意見なるものを承はつて見ると第一には二千人の兒童を從來三回に分かちたものであるが、今年も三回に分かつこすれば一回約七百人の兒童こなり之を收容するに足る宿舍がない又四回に分かつ事こすれば第四回目の兒童は游泳時が過ぎる爲めに

保健衞生上 から見て決だ面白くないと當局こ雖も游泳浴や游泳演習の必要は十二分に知悉して居るが、日本の兒童は夏の活動よりも冬の活動に多くの注意を要する、由來日本人は一概に暖國に生れる先天的の因習があるので冬の零下卅度以下の寒さに活動する能力は極だ

薄弱である 之を事實に徴すれば去るハルビン邊の露西亞兒童は零下四十度以上の寒さに戸外で五時間も五時間も活動して決して寒さに怖じけないが日本の兒童は、學校の往復にさへ往々痛められて泣いて通るのを見る事がある、まして戸外運動の如きは殆んど出來ないこ謂つても宜しい、是れ取りも直さず

生理機能が 耐寒力の薄弱であるにも因らうが服裝の缺點も大いに與つて力がある、從つて將來滿洲蒙古の活動に堪へ得る剛健なる國民を造らんこならば、今日より極寒に堪へるべき服裝を研究し置く必要がある、殊に女子の服裝には深甚の注意を拂ふ必要がある、今日中年以上の婦女子をして

洋服に慣れ しむる事は到底不可能の事であるから、成るべく五六歳の小兒時代から洋服に慣れさせるより外に道はないよつて夏期游泳に要する經費を殘して第一年度の試みこして今年の冬からは成るべく兒童の極寒に堪へ得る要素にして安直なる＝假令、羊毛でもよし狗皮でもよし＝相當

保溫の價値 ある洋服なり、外套なりを著せて見たいこ云ふのが抑も今度の夏休み游泳中止の根本的理由である相な聞いて見れば相當の理窟もある樣だ(安東縣)

柞蠶絲動く

相場は七百卅圓位 久しく不引合の爲め取引皆無なりし柞蠶絲は内地生絲高に刺戟せられ去る四日頃より漸々商談行はれつゝあるが市價は商標物三百七十兩に始まり三百八十兩位迄に手合あり又無印物は三百三十兩乃至三百五十兩にして日貨換算七百三十圓見當にて低値六百圓時代に比し約百二十圓高に相當せり支那商人は四百兩にあらざれば原料加工料金利等の換算不引合を稱へ居れるも秋蠶の成績優良なりしに鑑み秋繭の需作を氣構へ一方資金の需用に左右せられ所々荷を手放す模樣なればヂリ／＼高にて當分多少の取引を見るならんこ觀測せられつゝあり(安東縣)

麗水電氣悶著
發起人間意見齟齬

大邱電氣會社の重役一派こ全羅南道麗水居住民こにて共願したる麗水電氣株式會社は既に設立許可を與へられ其の準備中なりしが玆にはしなくも麗水側こ大邱側こに意見の衝突を來し悶著中なるが聞く處に依れば大邱側の發起人は麗水に据附くべき電氣機械を自己の斡旋に因る古機械を以てせんこし、麗水側は全然之を却け故障頻發の虞なきに非ざる古機械よりも新品を購入し將來營業上の障害を少からしむべしこ論じ兩々相下らず麗水側に於ては若し大邱側にして新品の購入に反對なる限り麗水側は共に會社創設に從ふ能はずこ主張し居れるを以て或は分離して新に麗水人士のみを中堅こし釜山、木浦等に資本者を求め大邱側を除外して電氣會社設立の議方を爲すにならんかこ(光州)

乙灘洑竣工
新灘津 十七日擧式

大田郡新灘津に於ける乙灘洑の工事は漸々竣工したるを以て本月十七日盛大なる落成式を擧行する事に決定したるが當日は忠南道廳は勿論總督府よりも夫れ／＼列席する筈なりこ(大田)

種子購入配付
旱魃に祟られた窮民救濟の爲め

昨年の旱害激甚なるに拘らず穀價の昂騰こに依り下流農民に甚大の苦痛を與へ飢餓に瀕する者少からず爲に農民は種子を喰ひ盡くし草根に僅少の粟馬鈴薯黍等の粥を用ゆるあり生活の悲慘を極めたるが殊に平康伊川兩郡に於ては本春播種期に至り種子の缺乏を訴ふるもの少からず爲に彼等の救濟は目下の喫緊なりこ認め江原道廳に於ては地方費四千四百五十五圓を以て大豆百二十石小豆四十石を購入して種子缺乏者に夫れ／＼配付したりこ(春川)

虎列拉と防疫

平南の虎疫
蔓延の兆あり

平安南道の虎疫は既報の如く續々流行し極めて漸次蔓延の兆あり十一日現在に於て初發以來五十名の患者を出し内死亡二十八名現在二十一名の羅病者及び三十五名の保菌者あり、十一日發生したる大同江艀舟内一名の患者はその系統明かならざるも前後の關係より推察するときは大同江の汀水によりて感染したるものらしく當局にては此際大同江水の使用を一層嚴重に取締れり

汽車檢疫 平安南道内に於ける虎疫發生地たる鎭南浦龍岡郡陽谷、三和の二面江西郡城岩面等の旅行者に對しては各驛々に於いて十一日より嚴重なる汽車檢疫を開始することなり居れるが檢疫中の隔離時間は約八時間位を要すべしこ(平壤)

仁川は臨時消毒班を組織す

仁川府廳並に仁川警察署當局者は今回各地に猖獗の兆ある虎疫を絶對に防遏し府内には一名の患者も發生せしめずこの意氣込にて種々打合の結果過般來施行中の豫防注射其他防疫方法の外に左記各項を實行する事に決せり(仁川)

一、臨時消毒班五班を編成し常備消毒隊の別働隊こして共同便所塵芥捨場其他不潔の場所に對し石灰乳劑を以て消毒せしむる事

一、府廳より吏員を巡廻せしめ各町交番巡査こ協力して府内飲食店其他の蠅の繁殖する住家を取調べ蠅取器の設備不完全なるものに對しては府廳に於て設備に特約購入せる一個十五錢の硝子製蠅取器の購求使用を獎勵し貧困者にして購入の資力なきものは五百個を限り無代供與する事

蠅取紙五百打を價格の三分の一を府にて補助したるものを購入し各派出所巡査をして一般之れが購入使用を獎勵せしむる事

常備蒐尿汲取人を督勵し且つ汲取跡に必ず生石灰を撒布せしむる事

無料注射

仁川府内各開業醫は虎疫豫防注射を一般府民の爲めに無料にて執行する事に醫師會に於て決定したれば市民は此際最寄醫師に就き漏れなく防注射を成すべしこの事なり

春川の防疫

虎疫の流行は各地方こも猖獗を極めつゝあり春川に於ては檢疫の勵行は勿論是非之が發生を未然に防禦すべく春川警察署は市内各戸に對し大々的臨時清潔法を勵行せしめ居れるが一般市民も此際充分自衞的豫防を施すべし(春川)

天安の注射

[illegible]親の如く天安の官公衙[illegible]は既に注射濟なるが今回は各郡一般を始めこし其他一般を通じ續々注射を行ひ居れり(天安)

守備隊着發

新義州守備隊交代に付下番兵第十中隊は十二日午後三時義州の混合列車にて到著上番第一中隊は來る十五日前七時二十二分發列車にて平壤の隊へ復歸する筈なりこ

協成銀行總會

株式會社協成銀行第一期定時株主總會は來る二十二日午後二時より公會堂に於て開催する由なるが今後の第一期營業期間は纔かに三十二日間に過ぎざるも其の成績は頗る優良なりしこ(安東縣)

警察署長轉勤

春川警察署長鈴木眞氏は今回忠清北道警務課長に昇任し十六日出發赴任の筈なりこ後任者は當分缺員の儘にて第三部警務課長佐藤警部兼務する由(春川)

三井主任更迭

三井物産安東出張所主任永原正雄氏は今般大連支店に轉任し其後任こして哈爾賓支店より天野悌二氏二十日頃著任すべし因に永原氏は業務引繼其の他の都合に依て出發赴任は本月末頃なるべしこ(安東縣)

四方八方 (全州)

▲東亞煙草全州分工場の町川氏は曾て同工場の製品である『朝日』が常に不足して需要に應じ兼ねたのを遺憾こし何ごかして市場出廻りを充分ならしめたいものこ考へた末先ず職工の充實を圖ることゝした▲時恰も職工拂底甚だしく其の募集に就て周旋したものには職工一人に付金五十錢宛を與へたものである▲が其後財界の變動に伴れ不景氣風が吹き荒ぶこ共に今度はアベコベにごん／＼職工が押し掛けて來るこいふ始末▲それで目下工場側では除り小くて比較的役に立ち難い者は漸次淘汰し技術の優れたものを選り殘す方針を採つてるらしい▲經營者こしては能率増進上忠實な措置こして已むを得ながらうが罷免さるゝものは大打擊、お氣の毒な話でもある

俠客奇譚 祐天吉松
第九五席 神田伯山講演

吉『ヘエ、惡い事は出來ねえもので、モウ其が知れて居りますか』長『知れてるども、スッカリ此の紙に書ねてある』吉『何だ、其ちやア分かる譯だ』長『夫ア俺が含んで居るから決してお前達、眞正の名前を云つちやア往けねえ』吉『ヘエ宜うございます』長『ソコで源次、お前は文身がねえから表の湯へ行つても宜いが、吉松、お前は目印があるから家の風呂へ這入んねえ』吉『ヘエ、』長『ソコで立花金五郎こ云ふ奴の事も書いてあるが、其奴を討つて本望を遂げたらお前は恐れながらこ名乘つて出なけりやア往かねえよ』吉『エ、それは固より覺悟でございます』長『マア俺の家に安心して居るが宜い』吉『何分宜しく願ひます』こ爰に二人が厄介になる事になつたが、二人こも力もあるし腕前もあり即ち博奕をしても儲りして居るから、自然兄哥々々こ立てられるやうになりました、今日經ち明日經ちして居る中に、一年餘り空しく此處に居りました、内々敵の立花金五郎の樣子を探つて居りましたけれごも皆目其の所在が別りません、或一日、長兵衞は奧でパクリ／＼煙草を喫んで居ります、店には吉松の五郎こ源次の七兵衞の二人、外に半端の乾兒が二三人居た、○『オ、成田のこ那橋の客人、親分が呼んでますぜ』吉『ア、さうかい、ぢやア皆な此處に待つて居ねえよ、何だらうな七兵衞』源『兄哥何だかなア』吉『兎も角も呼んでるつてもんだから奧へ行つて見やう……ヘエ親分何か御用ですかい』長『ウム、外ぢやアねえわけれごもな、俺の乾兒に稻門村の六兵衞こいふ者がある』吉『エ、知つてます、貴方が御隱居をなさりやア那の六兵衞さんが貸元におなんなさるんでございませう』長『ウム、其の六兵衞の乾兒に稻門村の常五郎こ云ふ者がある、詰まり俺の孫みだ』吉『成程』長『此頃常五郎が恐ろしく貧乏して居る』吉『ヘエ』長『六七年前の稻門村の常五郎こ云つちやア大層な男だつた、常五郎あつて六兵衞、六兵衞あつて常五郎こ云はれた位ゐ、却々旅人も可愛がつたが、どうも氣の毒な事ぢやアねえか、六年跡に隣の家から火事が出て全燒を食つた、夫から越すこ又全燒を食つた』吉『ヘエー、』長『江戶の住居は火の上の住居こ云ふ位一月の内に一度燒けたの一年の内に五度燒けたのこ云ふ話は珍しくはねえ、然んな人は幾らもある』吉『夫ア廣い江戶の事だから必こありませう』長『此んな田舍の甲府などへ來るこ俺の代で五代燒けねえ倅の代で丁度七代燒けねえなんて家が幾つもある』吉『ヘエ』長『夫れを何こ呆れ返るぢやアねえか、僅の間に二度の丸燒だ、其上に親父が身體が惡くなつて、三年越しの長煩ひ、苦しい中で高い藥を服ませ、看病をした甲斐もなく、夫れが遂々死んぢまつた、』吉『重ね／＼ですねえ』長『夫れに常五郎の姉で他へ嫁に行つてたのが少しばかり先で間違ひがあつて家へ歸されて來た、夫れも良いが狂人になつて居る』吉『オヤ／＼』長『ソコで阿母も心配の餘り身體が惡くなつて、目がバッタリ盲れてまるで見えねえ』吉『ヘエー』長『で常五郎の女房が常吉こ云ふ二歳になる乳呑子を殘して何だ……死んぢま

群山教育講演

群山教育會に於て來る八月一日より五日間帝大教授大島正德氏を招聘し夏期講習會を開催する事に決したるは既報の如くなるが今回府より課外講師こして總督府編輯官小倉進平氏を派遣毎日一時間講演ある筈なり(群山)

洋畫展覽會

仁川基督教青年會にては十三日より同十六日迄洋畫界の大家石井柏亭氏の作品展覽會を催し同日午後六時より同會館に於て同氏の洋畫の見方こ題する講話を催する由(仁川)

大安署の異動

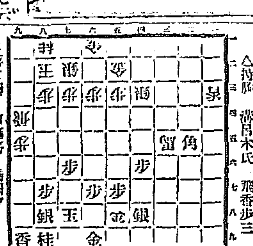
大安警察署の池田巡査部長は本署詰成歡駐在所の高原部長は湖在勤務の志村部長は本署詰に夫々轉勤せし因に池田部長は十二日出發せり(天安)

漫遊新局 (五)

於撫順 千金寨四國倶樂部 滿呂木六段歡迎將棋會

香落番 七段▲矢野逸郎(撫順) 六段△滿呂木光治(京城)

(圖は前號指了迄の局面) △持駒 滿呂木氏 飛香歩三



(續)▲四七角 △二四飛(ト) △九三歩 ▲二七歩 (チ)▲三六歩 △三八歩 ▲九二飛 △九一玉 ▲九一飛ナル ▲五五桂 △五六角 ▲同七歩 △五五 九銀 ▲六二玉 △九二歩ナル ▲二八歩ナル △八二こ ▲三八こ ▲七二こ ▲同金 △八一龍 ▲七一桂 △二五歩 ▲一四飛(以下次號)

講評 △(ト)二四飛は惡手なり此處三六歩三八歩一七香なるこ徐々に指す處なり △(チ)九三歩打ち妨なり

七月十五日

(舊曆五月三十日) ▲木曜日 ▲甲戌 ▲六白 ▲庚申 丑寅 ▲佛滅 ▲角宿 ▲平

▼八白▲兄弟增に聞き合ふの月。
▼九紫▲好機到來利益增進殊に蒸著非業な企つるに吉待人來る
▼一白▲勞の割合に功顯れぬ日。
▼二黑▲利こ見えて不利に終る
▼三碧▲一日中面白からざる日
▼四綠▲心して進めば商取利あり飲食を愼まざれば身を害ふ日。
▼五黃▲世話事に手出する不利
▼六白▲運氣壯んなる日新規の事有利但山氣を出せば失敗す
▼七赤▲勝欣快旅行名譽求職縁談吉人なる後見を得る

大邱煙草賣高
著しく增加

大邱府に於ける本年四月より六月末迄の專賣煙草賣高は[illegible]にして口付當に於ては口付を除き[illegible]高に太巻き香王、香月の賑位に[illegible]て需要多く之を前年同期に比し[illegible]敷島の十割、朝日の四割、太巻[illegible]の五十六割を除き何れも付加せるが刻賞は旭鶴アヤメ白梅等の需要最も多く白梅は十八割サッキは三割を增加せるがアヤメは[illegible]嗜好の[illegible]

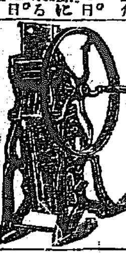
[illegible]は繩合格三千六十二把不合格五百八十二把合計三千六百四十四把此の賠償額百四十三圓七十五錢[illegible]一運、叺一等一千八百五十八枚[illegible]一等七千四百八枚三等[illegible]廿八圓七十三錢一運にして之を前年同月に比し繩叺共に數量及び價格に於て著るしき減少を示せり(大邱)

大田局管貯金

[illegible]七十六錢同拂渡二萬四千四百七十六圓八十八錢貯金受け入二[illegible]三千二百二十四圓七十七錢同拂[illegible]渡一萬七百七十四圓五十八錢元[illegible]に比すれば貯金受け入れに於て[illegible]一萬二千八百七十一錢同拂ひ渡に於て六千九百三十三圓七錢[illegible]し同拂ひ渡は一千三百九十七[illegible]九十六錢を減じたるが此の[illegible]人の増加は[illegible]ならざるものなり(大田)

慶山の富豪
五千圓寄附

[illegible]の苦心の結果なりこ雖も背後に日本政府の保護ありたる爲めにして予の今日あるは全く日本政府の恩惠に外ならざるを以て今後は一層國家の爲め[illegible]



最新特許 うどん そうめん そば 製麵機械
博覽會共進會名譽金銀賞牌受領
專賣特許 製麵機

專賣特許實用新案特許
▲孫子の代まで履ける
輕銀下駄
桐の少し優な下駄が二圓三圓こ云ふ高價で僅一月か二月で役に立たなくなる此の輕銀の如な硬質で作つた臺は十年の永き間用しても破損せずいつ迄も美しく又地代も同じ高價で優美な品物は眞に現代の經濟下駄であります男物一足金二圓七十錢女物一足金二圓五十錢ハガキにて御注文あれ代金引替送料實費にて送る(販賣店大募集)
東京市淺草區瓦町川岸通角 福田商會
電話下谷七六一二 振替東京四五二六三番

公告
當會社株主總會ノ決議ニ因リ大正九年六月二十七日解散シタルニ付債權者ハ大正九年九月二十七日迄ノ期間内ニ其ノ請求ノ申出アルベキナリ若シ此ノ期間内ニ申出ナキトキハ此ノ清算ヨリ除斥セラルベシ此段公告ス
大正九年七月十日
朝鮮産業株式會社
清算人 藤崎三郎助

刺繡講習
教室内には圖案に要する諸種參考品備付あり會員外の御方こ雖も陳列御覽有之度候
會則入用の御方は郵券二錢封入御申込相成度候
京城龍山漢江通十八銀行橫
京城刺繡講習所

開業二十五週年紀念貳割引賣出し
□東京特製トランク
□弊店特製トランク
□柳行李專用 柳織トランク
□乳母車並最新流行洋傘
□其他旅行用具各種
京城本町一丁目
髙木鞄店
電話二五四番

胃腸藥タラコン
慢性でも急性でも皆な治る
實驗こ學理こが保證する

慢性の胃腸病は十年廿年、或は一生治らぬ人が多いのですが、それは今日まで根本的の妙藥がないためで、一度タラコンが世に出てから急性は勿論、慢性の重病で、永年患苦に泣いて居た人でも、僅の間にサッパリこ治り頑健な身體になつて幸福な新生涯に入り喜んで居る方が澤山あります、此藥の確效あることは村井醫學博士が多年の實驗に依て確實に證明せられ且つ又た帝大教授が學理的の研究に依て其有效成分が明かになりました胃や腸の筋が弛緩んで食物が滯る人、胸や腹が張り又は痛む人、酸い水や、苦い水やゲップの出る人、食物が進み過ぎ又は、減ずる人、胸が惡く嘔氣を催す人、瓦斯が溜り腹が鳴る人、下痢する人、便通の惡い人、三日通じがなく／＼して下痢する人、胃や腸のたゞれた人、潰瘍や、盲腸の出來た人、胃液の多過ぎる人、少い人、何でも胃腸の惡い方は早く試めしてサッパリこお治しなさい。
特別の病氣があれば特別の藥があります
結核性の下痢驚くほど效目あるタラコンのきゝめは確かです若し又盲腸炎又は盲腸周圍炎は手術せずして盲腸湯で立派に治ります
糖尿病 患者が服用して五日目毎に尿分を御試驗になれば如何に此藥が良くきくか、すタラコン糖尿湯は驗卓效あることは專門家の賞讃する處です
●藥價タラコン散藥、煎劑各五十錢、一圓廿錢、二圓五十錢、五圓、十圓、特方タラコン湯、盲腸湯、糖尿湯各一圓五十錢、三圓、六圓、十二圓●送料十二錢市外四十五錢
本舗 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園 (電話小石川二九五六 振替東京二〇〇二)

……部に砂を撒く計畫を樹て本日中……府警保局長の決裁實施の運に至るべしと

……仕支那人殺業萬賓堂方に約十八名より成る支那人殺害……

商況

株式

東京株式 至急電報

十三日 一立會 前場比較
東株 一二一、五〇 五、一〇安
同新 …… ……
滿鐵 …… ……
二新 …… ……

東京現株 至急電報

十三日中値 押込 ▲臨貴△下落
東新 一〇〇、〇〇 △一六、〇〇
日新 二六〇、〇〇 △三九、〇〇
東拓 五〇、〇〇 ……
郵船 五〇、〇〇 △五〇、〇〇
同新 三、五〇 一四、〇〇

大阪株式 至急電報

銘柄 十三日前場寄付 十二日後場大引
大株 二〇〇、二〇 二〇一、九〇
大新 一〇〇、三〇 一〇二、三〇
郵船 一三四、六〇 一三四、〇〇
商船 五六、五〇 五七、四〇
同新 七一、一〇 七一、一〇
鐘紡 二四六、〇〇 二四七、八〇
同新 二三〇、〇〇 二三二、五〇
東紡 二一八、五〇 二二八、五〇
東新 九〇、七〇 九一、八〇
當米 …… 一七、五〇
上取 五一、四〇 五三、五〇

大連株式 至急電報

十二日前場 當限 先限
取引 四七三、〇〇 四七二、〇〇
鈔票 四七、八〇 四七、八〇
滿糖 …… ……
果實 …… ……
蠶粉 六八、〇〇 六七、〇〇

安東株式 至急電報

十二日
安東寄 十日限 二三、七〇 廿五日限 二三、四〇
信託 正 二三、五〇 止 二三、一〇
▲十日限出來高 一六、〇〇枚
▲廿五日限出來高 一五、〇〇枚
鐵路 …… ……
滿洲 …… ……
▲先限出來高 ……枚

京城現株 標準値段

▲印騰貴 △印下落
仁取 押込 二四〇、〇〇 ▲二七一、〇〇 △一六、〇〇
京株 三三、五〇 ……
安信 二五、〇〇 ▲二五、〇〇
同新 二〇、〇〇 二一〇、〇〇
殖銀 五〇、〇〇 ▲五一、〇〇
同新 二五、五〇 一五、〇〇
朝鐵 一〇、〇〇 四、〇〇
同新 ……
郵船 …… 三、〇〇〇
興業 …… 一五、〇〇
打 …… 一〇、〇〇
日本 …… 五二、〇〇
大土 …… 一〇、〇〇
會社 …… 七、五〇
紡績 …… 三一、〇〇
毛 …… 一八、〇〇
精 …… 一八、〇〇
燐 …… 二五、〇〇
…… 九、〇〇

東京現株別電

(十三日午前) 高松商會入電
▲東株一八四、〇〇▲同新六四、〇〇▲日紡一〇〇▲鐘紡一四四、〇〇▲同五五、〇〇郵船一三三、〇〇

東京現物特電

十三日市中入電左の如し
東株 一八二、〇〇
東新 九九、〇〇
鐘紡 一三一、〇〇
鐘新 三三八、〇〇
拓銀新 一三、〇〇
日銀新 一七、〇〇
毛紡 一七、〇〇
日糖 一四、〇〇

形勢惡化す

改正税法通過見越し一般資産家筋悲觀

改正所得税法案は各資業開催の劇烈なる反對運動も其の功を奏せずホンの留保金課税に對する甲種的再修正位によりて下院を通過せし模様あり各反對者が機かに一縷の望みを繋ぎたる上院各派の意嚮も當初は可なり猛烈なる反對意見を有し居たる模樣なれど其の間に何等かの附帶條件あり大略之れを通過せしむることに大勢粗ぼ定まれりとの説ありて一時延期見越しに慰安を貪り居たる市場も茲に再び落膽失望し同税法にして愈よ實行せらる〻事となりては相當のプレミアム附き證券に放資し來りたる者は全然其の根底より覆さる〻こととなるは極めて明白なり市場は再轉悪化小口買方の投げは勿論一般資産階級の悲觀は愈よ高じ來たりて中には新規に賣り出づる者さへあるといふ有樣にて諸株別項の如く低落を見るに至れる也

一流株特に非

諸株低落中にも鐘紡郵船其の他資産狀態の充實せる者は改正法施の結果最も打撃の大なるものあるより他の二流三流處の者に比し比較的多くを賣り叩かれたるかの觀あり綜合税法によりて其の納税率を累加せらる〻時は巨額の留保金を有する確實なる株程其負擔額の増加する道理にして其等の確實株が一流資産家の手に比較的多く掌握され居るを以つて確實なる株にして健全なる放資者程其の打撃の程度は大なるべき道理ならづや政府當局は改正法は合理的にして此れ以上の良案なしこいひ居れるも而かも此の改正法たるや五十圓額面の株に對する放資は飽くまで五十圓と看做し超領したる者にして創業以來の經歷及既得權留保金等の凡てを度外したる者にして此等の既得權經歷留保金より生み出されたる數倍乃至數十倍のプレミアムに對する放資者は其の根抵より攪亂せられ全然創業當時の超領點に還らざる可らざることなれるを以て各産業界の動亂は當然免れざる處となるべき道理なり

浮動株稍減少

現在の閑散は果して那邊に迄持續すべき歟亂麻の如く紛亂せる財界を背景とせる株式の前途は臆測せんとするも豫測する能はず隨つて今俄かに濟渕たる活躍を望まんとするも得べからざるはいふまでもなきことなるが然かしなければ買はんとする遊助の買物も控へ居る模樣にて而かも此等の買物は何れも三年でも五年でも之れを醜漬けに爲し置かんとする極めて眞面目なる買物なるを以つて各方面に於ける整理の進行と共に浮動株は何時消化せられしとなく消化せらるべく案外の反撥あるやも測り難しと見る者もあり(大阪)

銀行態度好變

極端なる警戒を爲し餘計に一般財界を脈迫したる銀行の態度も政府が救濟に意を用ひつ〻あるご綿糸市糸を始め一般商品界の狀況既に小康を保ち稍次高の歩調を辿るに至り反動を了したる財界は最早前途格別の懸念を要せざる狀態に達せる次第なれば市中各銀行の態度は最近一段と緩和し來り一流株券は勿論二流三流の株券も相當の融通を得るに至れる等其他總ての點に於て金融疏通の道開拓されつ〻ある事實は是より徐々に株式市場の人氣に好刺戟を與ふることとなるべく當面の一好材料たるを失はざるべしと(大阪)

京城現株市況

商狀は依然振はず花形たる京株現株は取引皆無の有樣にて仁取殖銀東拓新安信等の申引弗々ながら取引行はれたるを見るのみ今朝來の手合せ左の如し

殖銀 一〇〇枚 五一、〇〇
仁取 三〇 一七一、〇〇
東拓新 五〇 一五、〇〇
安信 五〇 二五、〇〇

京株弱材料

營業課長不適任

京株は十三日殆んど賣買なく某株店の如きは二十五圓八十錢所にて買物を出し居たるも何分賣物に乏しかりし如く某株店の如きは二十五圓八十錢所の賣物を欲し居たるも何分賣物に乏しかりし模樣なるが市場の中心たるべき營業課長に全く株に關係なき商業會議所の書記たりし法學士某を任用し然もその人物の性行決して適任に非ず同人の如きを課長となさば市場の前途推して知るべしとて弱材料視するものあり市場內部にても營業課長輕視の嘲あり要するに本社長が人選を誤り居れりとの評ありて適當の人物を擧けざれば市場は不利となるにあらずやとも云ふ

殖銀買募る

殖銀は新舊株を通じて何となく買募る風情ありたるが今朝は前日の値頃と大なる差異なきも二十錢高の五十一圓にて百枚の手合せ行はれたり目先此邊の値頃なれば尚取引多からん見込なりと

京株出來ず

京株は今朝無手合せの有樣なるが此現象は値頃を見れば買へず値頃を見れば賣れずとの品薄狀態より人氣の極端に達せる結果とも見るべく又過日來安値より買ひ付けたる結果小口買の減少とも見らるべく更に今後は同手筋が同株に對し如何なる態度に出づるやも同株の市價に影響する所大なるものあらん

建株追加申請

京城現株市場にては十日付左記五會社の株を建株と爲すことに就き追加承認の申請をなしたり
▲東洋畜産▲朝鮮皮革▲西鮮殖産▲朝鮮肥料▲朝鮮郵船

北濱だより

相變らず東軟西硬の傾きがある右は地場仲買連の後ろ合から來た現象だが何うだかは別問題として兎に角市場は依然氣乘薄閑散到底滿足な表現は今の處前途遼遠の觀があるさりとて此の突つ込まんとする手合も新らしく出ないか▲こ云ふのは矢張り値頃こ周圍の事情を顧慮した結果ではなからうか▲帶谷君の如きは市場振興策に對し理事長室に島君を襲ふが今の處格別の妙案も出ぬ▲則ち其妙案とは金其ものであるがサア夫れが時節柄だから困るのだ要は氣永く時期到來を待つべきかナ▲安君の出馬で大に籍に對して買つて居る處は一寸珍らしかつたらしい▲今本家は久し振で加島角大阪方の橋本、芝大等の手筋は安値は熾んに拾はんとする姿

株界片々

京株營業課長が適任でないなら▲等ろ文書課長を入れたらよからうと云ふ者もある▲蓋し文書課長は經歷を有つた法學士であり勉強家だから▲尤も理想的の人選は東京か大阪かで……▲懐へた株式通が欲しい▲個人の感情を交へず俸給の如きを惜まず人を迎ふる雅量がなくては不可だ▲之れも市場の繁榮を望むから起る止みがたき聲であるのである▲京株が市場開業の日いくらに生れるかは興味ある問題だが三十圓より下でなからうご云ふ▲こすれば尚ほ買ひ余地はあるわけだ尤も一割の配當は困難じやらうから三十圓に買つては三分三厘の利まわりにしかならぬ▲三分三厘にまわればよいではないかこ云ふ者もあるが株は理屈通りには行かぬ理屈通りに行けば損をするものはないわけだ▲であるから京株五十圓再現の聲も出るのである▲斎山商銀頭取萩野氏の失敗は京株の高値買ひ占めにあるさうな▲萩野老のみならず京城にも大分御親類があるらしい▲三月から四月にかけては京株七十圓を目標こし盡二無二買ひ進んだ人が多かつた▲節に考ゆればその時は直ぐ分る然し何とか彼とか理屈をつけたものだ▲今日となつて見れば人氣の轉換が恐ろしいやうだ

有價證券 現物問屋
京城永樂町二
刀金加商店
電話五八番

米況

鮮銀券日報

七月十二日の現在左の如し
發行高 九八、三〇二、一六九
正貨準備 四九、六八八、四七九
限外發行 ……

京阪金利

七月十二日の現在左の如し
コール 東京 大阪
無條件 …… 五、〇
翌日物 …… ……
六十日物 …… ……
普通割引步合 …… 三、〇

日銀帳尻

七月十日現在左の如し
發行高 一、一五二、五九五、〇〇〇
正貨準備 九八四、五〇四、〇〇〇
限外發行 四八〇、〇九一、〇〇〇
貸出高 五二六、二二〇、〇〇〇

東京期米特電

◎十三日前場
當限寄付 三十五圓六十一錢
同 止め 三十四圓丁度
中限寄付 三十三圓三十一錢
同 止め ……
◎十三日後場 三、五一

大阪期米特電

◎十三日前場
當限寄付 三十五圓九十錢
中限寄付 三十三圓六十錢
先限寄付 三十二圓二十九錢
◎十三日後場 三、九一
寄付 ……
高値 ……
安値 ……
止め ……
◎十三日前場
當限寄付 三十六圓四十一錢
同 止め 三十六圓〇一錢
中限寄付 三十三圓八十錢
同 止め 三十三圓四十九錢
十三日前場 三二、三九一
同後場 三三、七一
三三、七一

神戸期米特電

◎十三日後場
當限寄付 三十六圓十一錢
中限寄付 三十三圓六十一錢
先限寄付 三十一圓八十九錢
十三日前場 三三、五六
日後場 ……
寄付 ……
高値 ……
安値 ……
止め 三一、八〇
◎十三日後場
先限寄付 三十二圓丁度

下關期米特電

◎十三日前場晴好氣
寄付 當限 三〇、五〇 中 三五、九九 先 三〇、三四
高値 …… 三〇、九九 三〇、七七
安値 …… 三〇、五〇 三〇、三三
止め …… 三〇、六〇 三〇、三三

釜山正米特電

又復四十錢安を示

內地期米軟弱を入れ現物舘出今朝……

仁川米期

十三日前場(賣 募 ふ)

昨後場阪地のヂリ〳〵安に牽制されて三十二圓二十錢こ落し三十錢こ小戻しに打止めし折柄引跡大阪後止め三十二圓十六錢こ不勢に益々賣氣を刺戟せしが今朝の寄付二十一錢の小高を入れ當中出來さるも先三十二圓二十錢こ買方の販引に安寄せしが倒安思ひの買物に忽ち六十錢こ盛返し軟派の防戰こ採み合ふ機先阪地の跡安に順氣翠めの買物を呼びて二十五錢こ叩かれ六錢こ頭重く引
▲第二節 當中出來ざるが先二十二錢より軟派の利乘せ賣りに買方の狼狙投げを誘起して遂に二圓の關門も打破し一圓七十五錢と突込みしが大阪四節三十二圓十九錢の手堅きに軟派手控へるこ同時に買方の防戰に支られ二圓十五錢こ跳返し二錢こ引
▲第三節 當出來ず中三十三圓六十錢こ小甘く先二圓丁度より一圓九十錢こ追込まれしも押目待ちの買物因せより現はれ〇五錢こ返し二圓丁度こ持合ひに引
▲第五節 當中更に出來ず先一圓八十錢こ軟派追戰を試みしも跡買物續がさるのみか押目待ちの買に手詰めを加はへ二圓〇六錢こ返し二圓丁度こ落付模樣に打止めたり

群山正米特電

八月中限三十五圓八十錢より七十錢同末限四圓十錢現物八圓二十錢(十三日)

圓四十錢 穀良四十八圓八十錢所にて三千叺許りの商內ありたり(十三日)

愈下岐れ乎

頃日來の降雨により挿秧狀況は稀有の好成績を示し眼氣又中分なき今日持米賣惜みの農家も茲大に氣分を緩和し來りしものよ如く限先正米は買物濡み來らんこする傾向ありて一時在米の潤滿に釣上げられし市場の人氣も漸次引緩るみ始め此鼻息々順舉めの一幕を演せんかの模樣みる共に當市場も昨後場より其歩調一變して今朝は二圓を打割るの呆氣なき成行きを見せしが併し軟派こしては大體に割安にある定期丈けに無謀なる安値の追賣は卻つて硬派に乘せらる〻の機會多ければ利有りは喰ふべし之頃る穩健の態度を持し最早過般の如き急轉直下の大暴落は望み薄し之難其影響は徐々に出て早晩嫌氣投げの一相場は避け難かるべし

水害と人氣

過日來の霖雨にて漢江沿岸を始め京釜沿道其他局部的に出水ありて其れ〳〵多少の被害ありし之雖本年は挿秧狀況未曾有の好結果を得平年不可能の場所迄植附を見るに至りし事こて作付反別又大に增加せし事に付俗に植附半作こ稱せらるゝ如く朝鮮に於ける稻作の良否は殆ご此植附の如何によりて定まるものなれば今日の如きは作柄の安全を見るに於ては無論結果を得べくよりて失ひしものの損害をトする遑あり今日の作柄の如きは多少の水害の影響があるの成續よりて得る處の物多かりし讓なれば水害の影響を受けざる程の水害の影響より其顧慮を要せざるべく服させらる可く其の人氣を翠め當然發かれ能はさるべし

動かれぬ相場乎

昨今の天候は恰も夏らしくして時つたり照つたりいふべく相場も氣迷ひ的人氣に動かされ一向落付きのなき空模樣に自然つつある者の如く今朝も阪地の小高きに連れ一節は三十二圓二一調子に乘りて一略萬金を急ぐの投機的の商賣もなかろう併し丹併的の商賣もあるから牡ふからハズレたがるものだが手がむ何やら云ふ奴は向ひの二道しかない易い仕事の模去れば相場と云ふ奴は買りこ賣たい難しいが定期の本分らしいと思ふ處なんか矢張り二つに一つでを眺めつたにも拘はらず▲あれだ開始は一轉の蠶破の上に無い物のでも値の本分らしい物丸切りぬ理窮の言葉に花が咲いたか▲今日も伐こ取つて見ても利もないのだ

大阪後場跳返す

順氣翠めに賣逸れる機先今朝は松井、構淺の聯合買の噂さを添へて大阪は前寄三十二圓二十一錢より徐々下押し歩調こなり途に二圓臺割れに落込みしが安値は一圓八十九錢よりひの買物殺出し後寄で値頃に三十二錢に小高を三節は二圓三十錢こ跳返へしを移し相變らず順氣買ひ採算買の呪合ひの場況を呈し居れり

十二日後場 寄付 三三、八五 出來 三三、五〇 高値 安値 三三、八五
十三日前場 寄付 二二、二九 公定段 …… 三〇、五八
……

後場盛返す

前場阪地の氣配薄に順氣翠めの賣物現ばれ三十二圓揚みに弛みて打止めしが引跡大阪後寄三十一圓八十九錢の高移りに續いて三節は一圓三千錢こ連續高の早耳買に後場は又復人氣を盛返し當中出來さりしも先三十一圓十錢こ丁高に寄付き一ゞ利乘りに三十一圓四十二錢こ引締め四十錢こ押し四十一錢こ引
▲第二節 當中出來ず先五十錢こ賣方の買物續かず卻つて戻り待ちの買物に三十七錢こ押し四十一錢こ持合ひに引

出來高 三千三百五十六萬一千六百石
……

仲買店

仁川米豆取引所仲買人
電話一八二三番
電略(シ)(ク)(カクシ)

市場雜觀

目物れさカサケは萬人の所望でも定期的の本分は投けて取しての相場の金主を争ふ引水的の說を吐く位は決して不思議な事ではない▲今日も或人は相場は理外の理であるとの四十圓近くの米を眺めながら三十二圓揚みの定期を……

大阪三品特電

◎十三日前場
七月限 三二一、九〇
八月限 三三〇、一〇
九月限 三三三、四〇
十月限 三三七、三〇
十一月限 三三八、〇〇
十二月限 三三九、一〇

麥粉は好勢

一時金融の梗塞と米安に壓されて落を演じたる麥粉も其後內地粉の製產制限や財界の小康又は麥の減収等に人氣見直し樣こなり相場も漸次堅調を辿り一時の崩れを受け續落の補助を來せる石炭と米價の上昇等の爲め再び強氣を唱ふるものあり昨今の五圓四五十錢處を唱へるに至りし卽ち粉は元高と小麥價との關係も亦內地ダイヤの五圓揚みの見當にて麥者の值頃著しく減少せり

京城正米市場

定期安と各地の正米安に當市場も又人氣弱く今朝は氣配西五十錢がら三十五圓五十錢見當を唱へられしが限先地方の出廻りと相場の下押しを待へ精米筋は一齊手控へ模樣にて商內殆こ行はれず

白米も軟調

白米は依然相場緩るまずこ雖も料の安氣配こ賣行きの鈍調に各精米所共漸次商談み來れるも小口の値切りも利くらしく市中卸值も茲一兩日中には幾分の引下げを見るに至るべし

大豆頭間へ

過日來移出筋の買望みにより漸次引締め歩調なりし大豆も正米の軟調に伴ひ今朝は市況稍々頭打ちの觀を呈し氣配二十錢方下押して龍山物二十三圓五十錢長湍物二十二圓六十錢處を唱へたり

被害穀物競賣

龍山倉庫の洪水被害穀物は昨後一時より現場にて競賣に附せられしが濡粟一千五百五十四袋は一袋三圓九十錢替四百七十七袋三圓五十錢替高粱五百袋一圓七十一錢替小豆五百十八叺一十錢替にて出來せり

仁川正米市場

在來米の潤滿に人氣を釣上げし正米も其の氣配に倍するもの如くに賣物輸次に現はれて今朝は四五六十錢安の三等神力三十八圓西五十錢見當を唱へ居れるも買方多く見送りの氣配なり

公債株式現物問屋
岩城現物部
京城府南米倉町
電話八四一番
電略イ(又は)〇一イ

博多取引所仲買人
首藤定商店
電話長二三番
一二四八番

天下の銘酒
ユウクシ
發賣元
首藤京城支店 電話一七二番
首藤釜山支店 電話三四三番
首藤博多支店 電話貳八八番

公告

建築工事請負入札

(一)永同郡營通學校々舍本家瓦葺平家 建坪百二十五坪 ……
下家 ……
(二)永同郡朝陽公立普通學校々舍本家瓦葺平家 ……
(三)永同郡永同公立普通學校々舍本家瓦葺平家 ……
(四)建坪總計 ……
一入札期日 大正九年七月二十一日午後三時
一入札場所 永同郡廳內
一入札保證金及契約保證金各自入札金額百分ノ五トス
一入札者ハ營業ノ種類ヲ記シ建築請負業ニ從事セル者ニ限ル

大正九年七月十日
永同郡廳

失權株式競賣公告

朝鮮郵船株式會社失權株式當株額面五拾圓株(乙第八九四號拾株)……京城府南大門通一丁目十九番地朝鮮郵船株式會社ニ於テ來七月十九日午前十時競賣ス
大正九年七月十二日
京城地方法院
執達吏事務取扱

日本自動車學校
毎月新學期開始 東京神田錦町 日本自動車學校へ

八月抽籤
七十六回 一等割増
當籤表毎月發行年四十錢
外同番組賣特價提供
大阪東區安土町學筋
小尾兩替店
振替大阪九四一四番

博文館代理部
商館の投賣嘱托
破格提供
不眞面目な廉賣と全然異なり數に限りあり地方は目錄呈上!!
東京本町日本橋 博通社

七月十五日營業開始
資本金 五百萬圓
株式會社 朝鮮實業銀行
京城府本町二丁目 電話一四三二番 二八五番 振替貯金一一九六〇番
頭取 古城菅堂
專務取締役 豐田明敬
支店所在地 鳥致院 清州

最新刊

滑稽ですね 黑田湖山著 二、〇〇
露西亞文學講話 クロポトキン著 昇曙夢・森下岩太郎・佐藤綠葉共譯 二八〇
ヒルピアお伽噺 井上鈴島譯 一、三〇
紅椿 佐藤紅綠著 二、七五
徐大總統 支那深丘仲子著 日本井上一葉譯 一、九〇
あの山この山 土居通彥著 二、七五
日米戰ふべきか 平原兵吾著 二、二〇
京城本町一丁目
大阪屋號
電話 一八〇、一八二番 振替京城 二五七番

新田帯革
新田耐水調革
朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店

耳だれ
▲耳の藥はオートミンに限る
當研究所發見の化學的新劑オートミンは耳だれ耳鳴耳痛み耳遠き病に用ひ實に不思議な効力を有す故に耳だれは如何なる難症でもシマず痛まず迅速確實に其惡臭を去りウミを止る事實に妙なり同病者はハガキで申込次第說明書を送呈す
東京芝區愛宕町
駒場洋藥研究所

珠算 責任養成
講師本學校長扈君一先生(校內生募集せず貳百以上) 諸典大卒新卯信及規則書郵券二錢送れ 四ヶ月卒業保證付大責任見よ
振替大阪四七八一七番 名古屋市西區本重町一丁目尾三速算學校 電本局三一四八

內科 眼科 小兒科
京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前)
附屬 京城肛門病痔疾療院
電話二四四三番
入院 肛門病痔疾特種注射根治療法解說書入用の方要郵券十三錢
院長 本田建
本田病院

タオル
新荷到着仕候
進物こして箱入調製仕候
京城本町
塚谷洋品店
電一一三六

携造品續出す御注意
オキシパサー
オキシパサー
本品は科學界の驚異デマイケルフアラデー氏の發見せる電氣に係るダイヤマグネチズムの原理を利用し大氣中の酸素を吸入せしむるに依る治療器にして使用簡便なり
血液の整潮疾病の根元を絕滅せしむるに體力を増進すべき物理治療法にして廣く中年病者の耐用に効力なし特に多年病者に薦む
効力永久にして器械代以外藥品等の費用を要せず使用簡便にして何等の危險なく婦人子供にも容易に使用することを得脚氣リウマチス神經痛胃腸病心臟病糖尿病神經衰弱生殖器病肺炎肋膜炎感冒婦人病諸病等の急性慢性病に効あり特に明瞭なる治療證明は申込次第無料呈す
定價金參拾九圓
血液の洗滌と體質の改造 虛弱者病者は一日も早く其苦惱を除かるべし
東京府荏原郡有樂町ミノ三
大日本オキシパサー商會
電話丸ノ內六九三・振替東京二八二一
オキシパサー總代理店 龍山驛前 居森松次郎 電話九〇五番
京城府黃金町一ノ六〇 取扱店 松本商店 電話三〇六一番
今般オキシパサー總代理店を居森松次郎に經營致候間小生同樣宜敷御引立被下度奉希上候 酒本高明

豫防 惡疫
コレラ流行!
下痢 腹痛の時はスグ
腸胃全治
いちどうがん
一道丸 大人用 小兒用
殺菌吐瀉に偉効ある本劑を用ひ速に根治し以て腸胃の健全を計られよ
本舖 大阪天滿橋 樋屋合資會社
到る所の藥店にあり

劍舞（五四）

碧瑠璃園
挿畫　森田ひさし

鬼の目（五）

『いゝえ、そんなに澤山借りたのではありません、わたしが知つて居ます、お父さんも御存じです』

お花は大きな聲をした、それに驚いて彦兵衛が目を覺ました

『口では何とでも被仰い、公正證書が物を云ひます』

榮之助はいよ〳〵沈着く、助一は皿のやうな目をして睨んだ

『何だ、何を云つて居るんだ』

彦兵衛は苦しさうに云ふて、首をねぢ向けて榮之助を見たが

『お、早川さん』と云つたきり、口を噤んだ、病氣以外の苦痛の色が忽ち凹んだ眼許に流れた

『御老人如何ですな、博士の御診察をお受になりましたかな』

榮之助は水よりも冷たい聲で云ふと、氣味好さゝうに嘲笑つて

『今日は例のお金の期限なんでしてな』

『助一、恕してくれ、わしはお前に濟まないことをした、お前に無斷で早川さんから金を借りてな』

『そんな事は氣になさらんでも宜しい』と助一は勞はるやうに云つたが『然し、金高だけはお聞きしなければなりません、いくらお借りになりました』

『二十圓借たよ』

『やつぱり二十圓、さうして證文に判をお捺しなすつたのですね』

『證文と委任狀と……二つの證紙に判を捺したよ』

『夫で分りました』と助一はまた榮之助の方を向いて『早川さん、あなたも御身分に似合はない、隨分惡いことを爲さるんですねえ』

『金を貸すのはわたしの商賣ですからな、利息を下さるお方はどなたでもお花主さまですよ』

榮之助は二度と彦兵衛の方を見ないやうにして、徐に煙草を吸つて居た

『さうですか、あなたは金貸しの商賣なんですか』と助一は胸元まで込みあげて來る腹立を、ぐつと抑へて『兎も角、お借り申しただけはお返し申さなければなりません、けれど此の通り病人の取込んでも居りますし、病人の前で押し問答をするのも如何ですから、どうか一兩日お待ちなすつて下さいませんか、すればわたしが出てお話し致します』

『はゝあ、すると都合が惡いから延期をしろと被仰るのですか』

『左樣です』

『宜しい、お頼みとあればお待ちしませう、然し、期限は今日です、證文の面から云ふと、今日御返金を願はねばなりません、が、待てと被仰れば待つても上げます、その代り利息だけはお拂ひ下さるでありませうね』

『利息ぐらゐは拂ひませう』

『大方こんな事だらうと思つて受取を書いて來ました、これが他のお宅ですと、利息の外に手數料と申す奴を戴きますが、外ならぬ安藤さんの事だから、夫だけはお減けして置きませう、では』とまた折鞄の口を開けて、印刷した受領證を取り出した

『これだけ頂戴致しませうかね』

助一は手に取つて見て驚いた、鉛筆で刷つた字の下に、筆太く記したは『三百圓也』の四字であつた

『三百圓、これが利息ですかね』

『左樣、月に一半……信用貸にしては方外の低利です、お拂下さい』

『串戯云つちや可けない、二十圓の元金に三百圓の利息を出す馬鹿者があるものですか』

『あなたはまだそんな事を云つて居るのですか、まだ證文を御覽にならないのですか、それなら宜しい、出る處へ出て理を分けて貰ひませう』

榮之助は利息の受取を取り上げて、再び折鞄へ入れやうとした

舊龍山（電話四六番）
八景園　新白水
○海川魚御料理
○風景絶佳

日報詞苑

歌壇

戀すれば

衣川　幽子

×

戀すれば常にわが持つ賢さも水泡となりて流れ去にけり

手ざはりのなつかしきかな『白木槿』君がみ肌を撫づる心地す

母病めば三日四日ほど炊ぎしてつつましき娘の如くふるまふ

わが帶に襟に袂に紅の少なになるさかなしみぬ春

旅心地して眺むる夕われ惡す餘りに君の冷たしも憤りて果は物投ぐ

木を伐りてあらはに見ゆる山脈を

放たれぬものゝ如くにこの君をかさわか身に精ぶ術欲し

同　御中　晝
河原寫眞館

×

竹内　葉子

盛られたる皿の苺の香の如くしみらに淋し夏のいたづき

朝ぼらけさやかに夏をうつしたる水にひゞきて時鳥鳴く

いづれより避けしならねどこれの身の病のことは云はざりしかな

亡響の恨みごさ云ふ猫の如し櫻の花を瓦斯の灯に從く

いらへする荒き聲など打ち掘り風吹けば散る癇癪の塵

雨降れりまみねむ君を思ひつゝ鏡の前に嘆くづゝけり

形にのみ木を開きてうつゝなに明日をまみねむ君想ひ居り

×

露木まなぶ

暴風雨よぎれる後のどんよりと打しめり見ゆる漁家の灯火

犬の群漁村の夜半の寂寞を破りて諸のたゞごとならず

砂原は沙漠のごとく茫としてはてなければ相逢ふ日なし

はろ〴〵と沙漠の如もはてしなき沙路を遊み戀ひ移れる

砂路遠くわが眺めける故さとは餘りに淋しき空なりしかな

×

青木しげる

憎みごとのあひて心の足はねば小夜の床ぬちいれがたきかも

僞りにもいれかたけれはまさぐりし人形の頬さへ冷ゆのまされる

見飽かなくあればか愛しき人形の涙ふくむもいれがたきかな

こゝだくも一夜心の惱ねつゝ人形さあれば夜の白みける

×

池　遊鶴男

こ朝愛しき兒のあり兒の寐ては起きよと計り頬ずり呼ぶも

術なみ別れて今はわが眼鏡熱き涙に鎖りけるかな

今日もかも思ひ惑がる咲きして部屋に籠るかかなしきぞ君

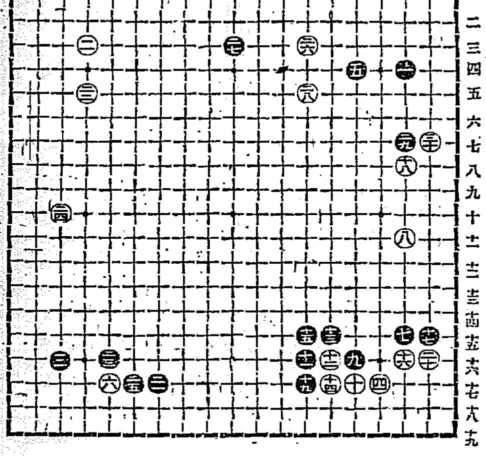
なか〳〵に諦めかねて今日もかも咲き籠るか枕の冷やさ

ひたすらに咲き崩れてなか〳〵に物な云はずなりにけるかな

東京六華會　青年棋客敗退手合（二）

先　田岡秀子（二段）
先　蒲生繁治（初段）
田岡氏（二回勝三回目）

○十六	は十六
●十七	ろ十五
○十八	は八
●十九	と十七
○二〇	ろ十六
●二一	わ十七
○二二	た五
●二三	よ十六
○二四	れ十
●二五	か十七
○二六	と三
●二七	ぬ三
○二八	と五
●二九	は七
○三〇	ろ七



新刊紹介

▲赤穗快擧錄（全二十冊目桃川如燕氏著）此の稿本は曾て御前講演の榮に浴うした著者畢生の大著述の史籍や史蹟を猟く深く究め家庭の讀物さして大成したものであるから普通の稗史や講談本さは趣きが違ふ豫約價四圓月賦四圓四十錢（東京下谷區西町帝國教育會）

▲家事研究（七月）論叢欄に家事教育の改造、社會改善と婦人の力等研究欄には玩具の研究、家事理科實驗等雜錄欄に母性本能の進化不良兒に就て等多くは教育家の筆に成れるものゝみ、眼醒めんとする女眼醒めたる婦の是非讀むべき雜誌（四十錢東京京橋區南傳馬町日黑書店）

▲中央佛教（七月）危險思想と佛教徒（卷頭言）宗教法案の解剖批判（社說）忠孝道德と佛教（雜錄）國民性と孟蘭盆（畔堂）を始め『自由題下の佛教』『最近社會思潮剖檢』の題下に蒐めた諸名家の意見金玉の文字其他有益記事滿載、同類の雜誌中頭角を抜けるものがある（三十五錢東京牛込區矢來町共社）

▲みづゑ（七月）農民美術（石川欽一郎）露西亞の農民藝術（塚本靖）農民藝術の意義（山下新太郎）其他の記事及び原色版寫眞版等豐富なる口繪を掲げ各國の農民美術號さ題している（八十錢東京小石川區駒井町春鳥會）

▲經濟時論（七月一日）特別調査鐘紡の實質と株價の前途を始め末路會社と鐘淵會社、手形不渡會と被新會社及附錄全國新會社要覽等（三十二錢東京芝區田町金星社）

▲實生活（七月）不可抗力（三宅博士）辯護士制度發達史論（白柳秀湖）東京市電問題（石澤久五郎）社會問題與談等（四十錢東京々橋區出雲町共社）

▲事業ご投資（六月）財界恐慌の實體と應急策、製糖事業の現在及將來、毛織事業の前途、米價趨勢旣設會社今期業績等（三十錢京城太平通共社）

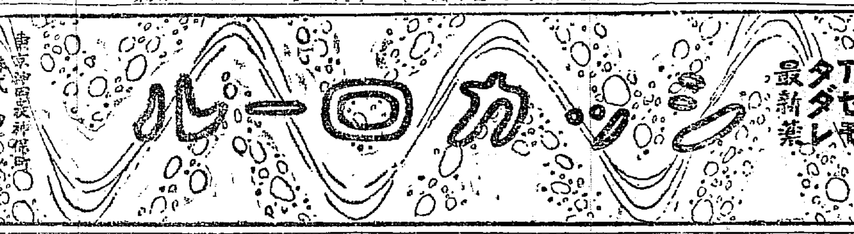
▲麻ご綿（七月）マニラ麻耕作論、本邦麻田製造業、[illegible]に就て製麻界の前途其他（三十五錢東京々橋區尾張町共社）

▲武友（七月）[illegible]錢東京麹町區飯田町帝國在鄕軍人會本部

▲實業辯公論（七月）二十五錢東京牛込區辨天町共社

…せる見識とは何人も敬服せざる者はないでせう、筆者陳列生さんの御芳名でせうか、御差支なくば本欄にて御知らせ下さい（京城蓬萊町一丁目鈴山生）▲日縣セツルプレス社長の令兄山縣悌三郎氏です（係り）▲本月十日前後の本欄に御投書の未亡人の御方へ御答へ申上ます、御世話致し度いと存じますがよろしければ本欄にて至急住所御知せ下さいまし、何卒致します（芳子）▲馬山人僑様に伺ひ致します私は或暦好の一人ですが伊勢暦とカレンダー類に記載してある暦が一日の差ゝあるはどちらが正しいでしようか甚だ御迷惑ですが何卒御願致します（暦好生）▲六月十六日の讀者領分に二十八歳貧乏女に告ぐ住所御知せください、書面で御尋ねしたいのです（望む男）▲偶利生に告ぐ普通文官試驗は其の都度募集する事故斷言するのです試驗日は普通學と法律大要です（京城府永樂町一ノ五折憶生）▲少女に告ぐ京城中學夜學校は南大門内にあります附屬藥品共同〇八十錢で好〇になる事必定試験あれ（同人）▲貧乏女様に[illegible]相談致します私の友人に本年三十六歳昨年家内や小供に別れ只今米倉所にて收七十圓にて勤めて居る者がありますか御異論なくば媒酌の勞を[illegible]（黄金町二ノ七七松毛）▲私は去る二十日午後四時頃俄の雨に降り込められて太平町の人の軒先に佇んでゐると折柄傘をさした少年が通りかゝつて『叔父さん何處迄？一所においでなさい』と親切にも合傘なして呉れたその時『少し遠くなつても好い』と歸つて行くと猶々宅迄送り込むで呉れた私は此の少年の親切に依つて雨に濡れることを免れたが少年の急いだ用件に遅れたことはあるまいかと心配でならなかつた此少年は南大門校の生徒であつた（感謝生）▲反省せしむれば反省し得べき山口窓の如き有爲の人物を他にも死刑に處するが如きは邦家の爲め惜しむべき事なりや否や敢て讀者の御高見を伺ひたし（円外漢）▲六月十六日讀者の領分拜見す二十八歳の貧乏女に告ぐ仁川府裁判所前松下方に訪問せよ何時にても家族的に世話するとのこと（松下）

アセモ　タダレ　最新薬



東京神田區表神保町
株式會社　和光堂
京城府本町一丁目九一　和光堂京城支店

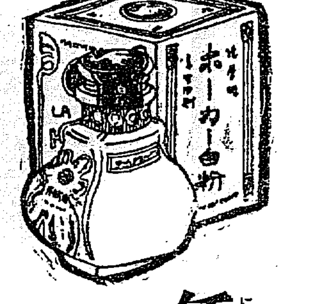
小男も大男となる

最近日本政府特許局の登録を受けた新發明身長器は全身の骨と背骨共に伸長せしめ骨も筋も肉も軟かく伸ばし自宅で苦痛なく手軽に發育が高くなり姿勢も正しくなる公益の器械を圖の希望者へは脊の伸びる器械を無料で御照會あれ必ず郵便ハガキで詳しく通知す
東京神田區美土代町一丁目器械療法所

優良化粧用

大連　萬玉洋行

最良ゴム
サック
男女各専用
壹打六拾錢　壹打四拾錢　壹打上等　圓別製　女中七十具　ー錢珍品　一割増
三圓以上送料十二銭郵券書中代金引替送る
大阪市北區天滿七八一町
中川商會



芳香入純煉製

ホーカー白粉

責任

白粉は責任あるものを御使用ならねば不可ません、さうでないと白粉の塗きが惡くお顔が醜くなる計りではなく肌を荒して遂には鉛毒にかゝつて身體を惡くする樣な事になります、特に夏は汗の出る事が多う御座いますから一層の選擇が必要です
我がホーカー白粉はホーカー化學研究所の責任ある製品で御座いますから化粧崩れや肌を荒し鉛毒にかかる樣な事は絶對に無く最も優良な化粧品で御座います

襟を汚さぬ
清々しい白粉

白さが上品で美しく決して變色せぬ
ノビが好く誰人の肌にも合ふ日ヤケ
肌アレを防ぎ色を白くする
匂ひが佳く絶對に化粧クヅレせず

定價一瓶三十六錢　送料内地六錢

ホーカー液
ホーカー白粉
ホーカー美髪液
ホーカーハツト

東京神田和泉橋
本舗　堀越嘉太郎商店
電話神田一四三・一四四・一四五
振替東京一一五六

ホーカー化學研究所

決して腐らず固らぬ

母乳

そつくりそのまゝの成分を縮入にしたる
サラ〳〵とした粉末純乳
湯にとけば望のお乳となる

ラクトーゲン

梅雨から夏にかけては何も斯も誠に腐易く殊にコレラや赤痢の流行する此際に可愛い〳〵赤ちゃんにお乳が無いとて不安な牛乳やコンデンスミルクをお飲せになるは實に危險でございます

英國保健衛生醫務局の報告によると
▲母乳で育てられてゐる嬰兒に比べて牛乳養育兒は七倍、コンデンスミルク養育兒は十四倍も多く痢病に罹ります

ラクトーゲンは全く此恐がないのでお醫者様の推奨は勿論理解ある家庭では必ず使用されてゐます

評細說明書御申越し次第進呈す
著名の藥店、食料品店に販賣す

發賣元　株式會社　乾卯商店
本店　大阪市道修町
支店　大連市山縣通　天津日本租界

脚氣貴重薬

旭薬品工業株式會社製造

エクイニン

本品は脚氣病に對して眞に神の如き卓効を有し輕症は〇・二瓦を含有する錠劑四乃至六個を以て根治し重症と雖も十五個乃至二十個を以て全く根治せしむる貴重薬なり切に諸賢の高評を俟つ
▽六錠二圓　▽十八錠五圓　▽必治保證
京城南大門通二丁目
新井藥房
電話九〇四、一〇六八　振替京城一六番

說明書贈呈

食料品
文具紙
荒物
土管
其他日鮮人向日用品一切
鑵・罐　買入
漆器　家具
金物
履物
鮮人向陶器

龍山組代理店
仁川新町　津田兄弟屋本店
電話七〇六　振替口座京城三四六
京城明治町貳丁目　津田兄弟屋支店
電話三〇四　振替口座京城三八〇